

令和8年度

教育要覧

岩 沼

岩沼市教育委員会

目 次

I 概況

- 1. 岩沼市の概要・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 人口の推移・・・・・・・・・・・・・ 2

II 教育行政

- 1. 岩沼市教育基本方針・・・・・・・・・・・・・ 3
- 2. 教育等の振興に関する施策の大綱・・・・・・・・・・・・・ 3
- 3. 令和8年度岩沼市教育目標・・・・・・・・・・・・・ 4
- 4. 教育委員・・・・・・・・・・・・・ 7
- 5. 歴代教育委員・・・・・・・・・・・・・ 7
- 6. 教育のあゆみ・・・・・・・・・・・・・ 9
- 7. 教育委員会組織機構・・・・・・・・・・・・・ 12
- 8. 教育委員会職員の状況・・・・・・・・・・・・・ 13
- 9. 東日本大震災について・・・・・・・・・・・・・ 14
- 10. 教育財政・・・・・・・・・・・・・ 16

III 学校教育

- 1. 学校施設一覧・・・・・・・・・・・・・ 17
- 2. 児童・生徒数の推移・・・・・・・・・・・・・ 18
- 3. 学校別児童・生徒数・・・・・・・・・・・・・ 19
- 4. 私立幼稚園児数・・・・・・・・・・・・・ 19
- 5. 児童・生徒の体位状況・・・・・・・・・・・・・ 20
- 6. 学校紹介・・・・・・・・・・・・・ 21
- 7. 学校給食・・・・・・・・・・・・・ 50

IV 生涯学習

- 1. 社会教育事業・・・・・・・・・・・・・ 53
- 2. 文化財保護事業・・・・・・・・・・・・・ 55
- 3. 社会体育事業・・・・・・・・・・・・・ 58

V 社会教育機関

- 1. 市民会館・中央公民館・・・・・・・・・・・・・ 62
- 2. 市民図書館・・・・・・・・・・・・・ 68
- 3. 社会教育施設等一覧・・・・・・・・・・・・・ 70

VI 各種委員会委員等名簿・・・・・・・・・・・・・ 71

I 概況

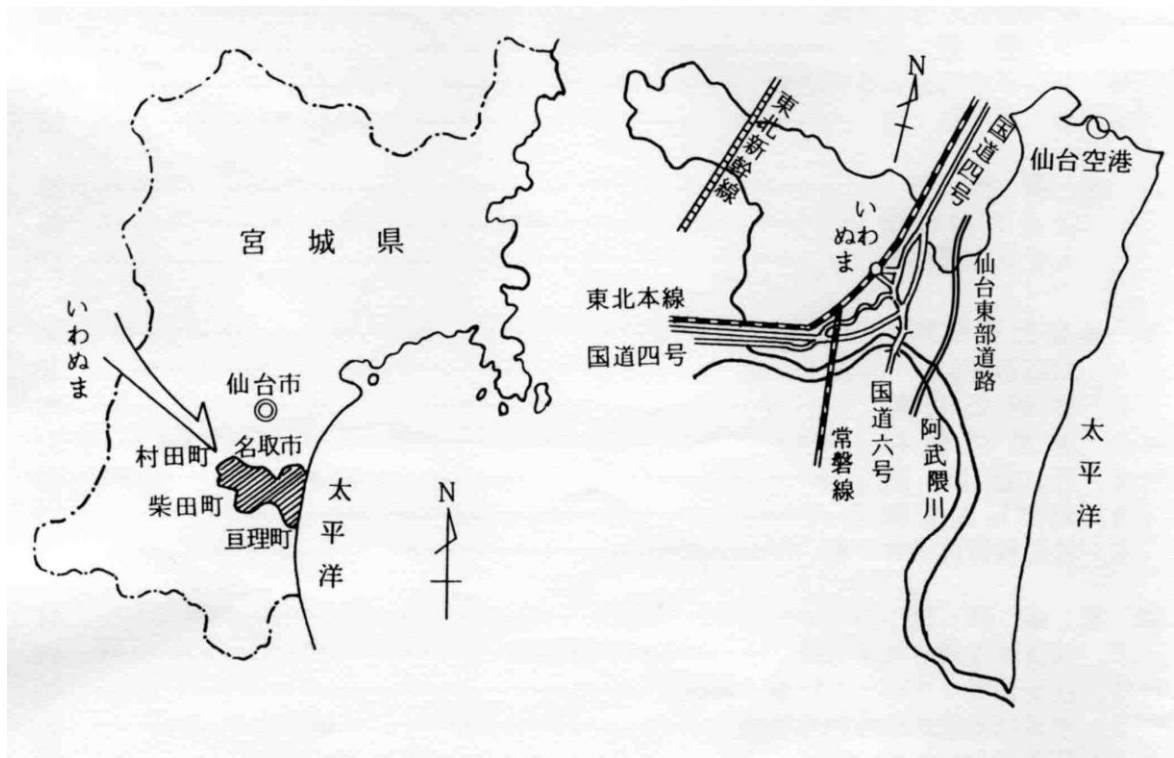
1. 岩沼市の概要

岩沼市は、宮城県南部に位置し、仙台市の南 17.6 km、東経 140 度 52 分、北緯 38 度 6 分にあり、東西約 13 km、南北約 10 km、総面積 60.30 km²で、東は太平洋、南は阿武隈川と接しており、山、川、平野、海の豊かな四季を生む自然と、過ごしやすく穏やかな気候に恵まれた環境にあります。また、J R 東北本線と J R 常磐線の合流点、国道 4 号と 6 号の合流点にあたり、仙台空港が所在するなど交通の要衝でもあります。

本市は、古くから奥州街道の宿場町、竹駒神社の門前町として栄えてきました。明治 22 年 4 月、市町村制の施行に伴って岩沼郷は「岩沼町」、東部 4 か村は「玉浦村」、西部 6 か村は「千貫村」となり、それぞれ町村の運営を行ってきましたが、昭和 30 年 4 月 1 日、この 3 か町村が合併し、「岩沼町」として発足しました。

その後、昭和 39 年の新産業都市指定などを契機に大小企業の進出が盛んになり、農業・商業を主とする町の経済基盤は、パルプ・ゴム・鉄工などを主体とした工業都市の性格も加わり、都市化の急激な進展をみて、昭和 46 年 11 月 1 日市制を施行し「岩沼市」が誕生しました。令和 3 年 11 月 1 日には、市制施行 50 周年を迎えました。

本市では、令和 6 年度から令和 15 年度までを計画期間とする「岩沼市総合計画」で実現すべき将来都市像を「人が集い 輝くまち いわぬま」と決めました。質の高いまちづくりにより市民の健やかな暮らしを支え、企業誘致や産業振興により、まちの活力維持と市民の雇用を確保するとともに、次代を担う人づくりと地域の文化を育むことにより、市民一人ひとりが輝き、笑顔があふれる魅力的な岩沼市となることを目指しています。



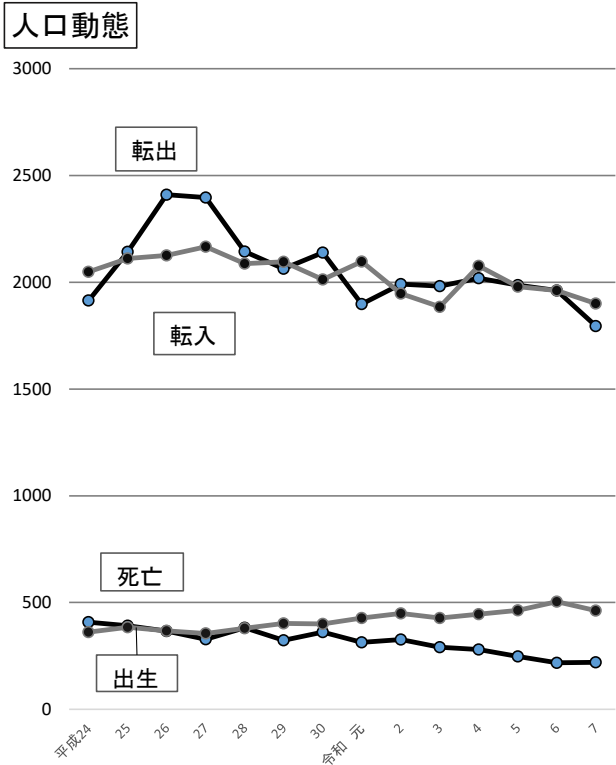
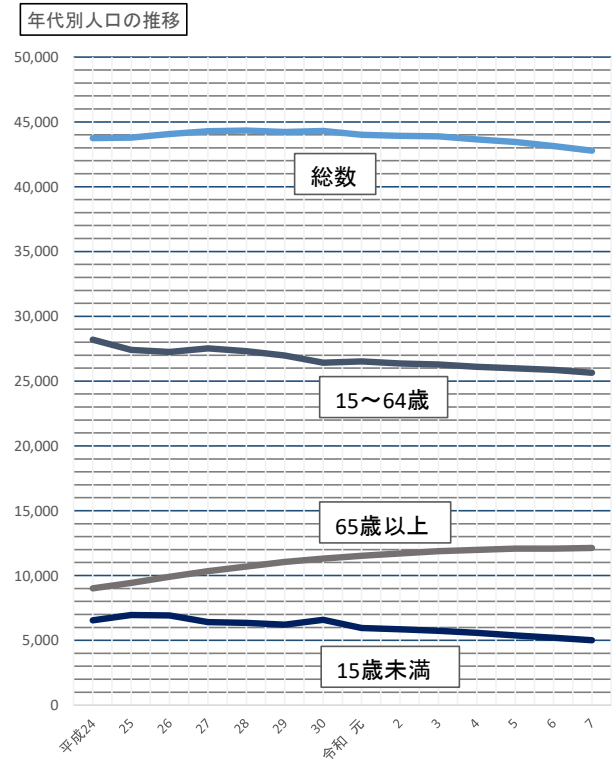
2. 人口の推移

○人口及び世帯数の推移
(昭和35年～平成12年 各年10月1日現在) (平成24年～令和7年 各年12月31日現在)

年	世帯数	人 口			1世帯当 たり人口	1 km ² 当 たり人口	面積	備 考
		総数	男	女			km ²	
昭和35	4,811	26,452	12,912	13,540	5.5	446.8	59.2	国勢調査
45	6,739	29,822	14,784	15,038	4.43	503.8	〃	〃
55	9,142	34,910	17,357	17,553	3.82	588.6	59.31	〃
平成 2	10,399	38,091	18,759	19,332	3.66	627.4	60.71	〃
12	13,135	41,407	20,390	21,017	3.15	681.9	60.72	〃
24	16,315	43,750	21,511	22,239	2.68	720.6	60.71	いわぬまミニ統計
25	16,503	43,788	21,544	22,244	2.65	721.3	〃	〃
26	16,893	44,071	21,724	22,347	2.61	729.0	60.45	〃
27	17,177	44,274	21,892	22,382	2.58	732.4	〃	〃
28	17,315	44,332	21,893	22,439	2.56	733.4	〃	〃
29	17,496	44,221	21,783	22,438	2.52	731.5	〃	〃
30	17,786	44,308	21,845	22,463	2.49	733.0	〃	〃
令和 元	17,936	43,995	21,714	22,281	2.45	727.8	〃	〃
2	18,232	43,917	21,655	22,262	2.41	726.5	〃	〃
3	18,459	43,878	21,669	22,209	2.38	725.9	〃	〃
4	18,670	43,656	21,602	22,054	2.34	722.2	〃	〃
5	18,901	43,448	21,475	21,973	2.3	718.7	〃	〃
6	19,110	43,137	21,360	21,777	2.3	713.6	〃	〃
7	19,183	42,777	21,146	21,631	2.2	707.6	〃	〃

○年代別人口の推移
(平成24年～令和7年 各年12月31日現在)

	総数	年齢階層別			自然動態		社会動態		自然動態 +社会動態
		15歳未	15～64歳	65歳以	出生	死亡	転入	転出	
平成24	43,750	6,543	28,197	9,010	408	361	1,914	2,049	△88
25	43,788	6,953	27,399	9,436	391	384	2,142	2,111	38
26	44,071	6,911	27,257	9,903	366	367	2,410	2,126	283
27	44,274	6,410	27,531	10,333	328	355	2,396	2,166	203
28	44,332	6,338	27,308	10,686	382	380	2,143	2,087	58
29	44,221	6,203	26,978	11,040	323	402	2,063	2,095	△111
30	44,308	6,591	26,421	11,296	361	400	2,139	2,013	87
令和 元	43,995	5,943	26,528	11,524	314	428	1,898	2,097	△ 313
2	43,917	5,856	26,370	11,691	327	449	1,991	1,947	△78
3	43,878	5,732	26,277	11,869	291	427	1,982	1,885	△39
4	43,656	5,583	26,097	11,976	280	445	2,019	2,076	△222
5	43,448	5,373	25,991	12,084	247	463	1,987	1,979	△208
6	43,137	5,194	25,867	12,076	218	504	1,961	1,961	△286
7	42,777	5,006	25,644	12,127	220	462	1,795	1,900	△347



Ⅱ 教育行政

1. 岩沼市教育基本方針

未来社会を展望し、広い視野と主体性をもち、命あるすべてのものと共に生きる心豊かな人間の形成と、明るく楽しい魅力あるまちづくりをめざし、学校・家庭・地域が一体となって、

「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」

「学びと潤いにみちた地域社会の実現」

「かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興」

を中心に、市民の生涯にわたる学習の充実に努める。

2. 教育等の振興に関する施策の大綱〔対象期間 4年（令和5年度～令和8年度）〕

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に定める岩沼市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱として、次のように定め、今後、市の各種計画との整合を図りながら、その実現に向け市全体で取り組んでいくものとする。

未来社会を展望し、広い視野と主体性をもち、様々な環境の変化に対応できる強くしなやかな人間の形成と、命あるすべてのものと共に生きる心豊かな市民による明るく楽しい魅力あるまちづくりをめざし、学校・家庭・地域が一体となって、「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」、「学びと潤いにみちた地域社会の実現」、「かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興」を中心に、市民の生涯にわたる学習の充実に努める。

○たくましさやさしさを培う学校づくりの推進

創造的で特色ある学校づくりを推進し、児童生徒の充実した学校生活の実現を期する。

社会の中で自他を認め、多様性を互いに尊重し合い、新しい時代を力強く生きるための土台となる、思いやりや社会性、強さやしなやかさ、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図り、自らの夢や志を持ち、それに向かい主体的に学習に取り組めるよう、「夢はぐくみ、愛のある教育」の一層の充実に努める。

○学びと潤いにみちた地域社会の実現

市民の誰もがいつでも学ぶことができる環境を整え、生涯にわたる学習や交流の場等の提供に努める。

多様な学習成果の実践や活動への参画を通して、地域コミュニティの活性化につなげていくとともに、学校・家庭・地域の連携を図り、社会全体で子どもたちの豊かな人間性と社会性を育む環境づくりに努める。

○かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興

市民の豊かな情操と潤いのある生活の実現をめざし、かおり高い芸術文化とのふれあいと創造を図るとともに、先人の貴重な遺産である文化財の保護と活用に努める。

市民のスポーツ環境を整備するとともに、誰もが生涯にわたりスポーツに親しむ機会や交流の場等の提供に努める。

3. 令和8年度 岩沼市教育目標 - 生涯学習社会の確立をめざして -

市民一人ひとりが、幼児期から生涯にわたる学習をととして、自己啓発や生活の向上を図り、いきいきとした健康的な生活の増進、豊かな創造性の涵養、快適な生活環境の確立、地域文化の創造を目的とした生涯学習社会の実現をめざし、総合的・体系的な基盤の整備を図る。

特に、変化の激しい社会の中でもよりよい人生や社会の在り方を考え、試行錯誤しながら問題を発見・解決し、新たな価値を創造していこうとする力を育成する必要があることを踏まえ、義務教育の段階を中心に「主体的に未来を創造する子供を育てる教育」の充実に努める。

また、感染症対策や自然災害等に対する危機管理及び防災教育を充実させ、希望ある未来につながるように努める。

I たくましさとやさしさを培う学校づくりの推進

創造的で特色ある学校づくりを推進し、児童生徒の充実した学校生活の実現を期する。

社会の中で自他を認め合い、多様性を尊重しながら新しい時代を力強く生きていくための基盤として、思いやりや社会性の涵養を図るとともに、学習指導要領に示された資質・能力（知識及び技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等）の育成を一層推進する。

その上で、子供一人一人が自らの夢や志を持ち、それに向かって主体的に学び続けることができるよう、「子供の未来を広げる教育」の充実に努める。

また、ICT教育を推進し、情報活用能力を身に付け、自ら考え行動する創造的な人材育成に努める。

1 夢やあこがれをはぐくむ学校づくり

(1) 学力向上の着実な推進

- ① 個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を目指す授業改善
- ② 全国学力・学習状況調査及び各種調査結果の活用による指導方法の工夫、改善
- ③ 家庭との連携を図った学習習慣の形成と自律した学びへの転換
- ④ 校内研究や教職員研修の充実

(2) 夢やあこがれをはぐくむ教育活動の展開

- ① 学校教育目標の達成に向けた教育課程の編成と評価活動の推進
- ② 学校教育目標推進事業の充実
- ③ 志教育の充実による適切な進路指導及び地域や企業等と連携したキャリア教育の推進

(3) 伝統・文化の尊重と国際理解をはぐくむ教育の推進

- ① 国際理解教育の推進
- ② 外国語活動及び外国語教育の充実
- ③ 環境教育・ふるさと教育の推進

(4) 教職員の資質・能力の向上

- ① 学校経営研修の充実
- ② 経験や職能に応じた研修会の開催と若手教員の学びの場の提供
- ③ ICT教育研修の充実

2 豊かな人間性や社会性、健やかな心身の育成

(1) 自他の命と人権を大切にし、思いやりやいたわりの心をはぐくむ道德教育の推進

(2) いじめの未然防止、早期発見、早期対応の推進

- (3) 一人ひとりを大切にした生徒指導及び心のケアの充実
- (4) 自ら危険を予測し、回避する力の育成を図る防災教育の推進
- (5) 自他の命を大切にし、安全な生活を送る基盤を培う安全教育の充実
- (6) 望ましい生活習慣の育成及び食育の推進
- (7) 体力・運動能力の向上と健康教育の推進
- (8) 疾病・感染症の予防及び保健教育の充実
- (9) 相互理解を図るコミュニケーション能力の育成
- (10) 小学校への円滑な接続のための保幼小連携の充実

3 学びの多様化に応じたきめ細やかな教育の推進

- (1) 一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導や支援の充実
- (2) 補助教員及び教育支援員の適正配置
- (3) 発達障害（自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等）に関する知識と対応の充実
- (4) 特別支援教育の理解と教育の充実
- (5) 教育相談体制の充実（発達障害、不登校やいじめ、その他の課題、災害時及びその後の社会環境変化に対する心のケアの充実）
- (6) 不登校児童生徒に対する支援体制の充実（多様な学びの場の構築と保護者への情報提供により社会的自立を支援）

4 魅力ある教育環境づくり

- (1) 教育施設整備計画に基づく安心して学べる学習環境整備の推進
- (2) 児童生徒一人ひとりに対応できる ICT 教育環境整備の推進
- (3) 外国語指導助手（ALT）活用の充実をはじめとする英語教育環境整備の推進
- (4) 教員が子供と向き合う時間の確保（教育 DX・働き方改革）
- (5) 学習支援ボランティアの活用と協働教育の推進
- (6) 家庭・地域社会に開かれた信頼される学校づくりの推進
- (7) 家庭における学校教育への理解促進
- (8) 自校方式、地産地消を生かした給食の提供による食育の推進
- (9) 学校図書館への司書等配置による、児童生徒の自主的・自発的な学習活動や読書活動の充実

II 学びと潤いにみちた地域社会の実現

市民の誰もが生涯にわたり学習し、交流できる環境の提供に努める。

多様な学習成果の実践や活動への参画を通して、地域コミュニティの活性化につなげていくとともに、家庭・地域・学校の連携を図り、社会全体で子供たちの豊かな人間性と社会性を育む環境づくりに努める。

1 生涯学習推進体制の整備

- (1) 家庭・地域・学校が連携した協働教育の推進
- (2) 生涯学習・社会教育に携わる人材育成
- (3) 持続可能な学びの循環

2 生涯にわたる学習機会の充実

- (1) 家庭教育支援の充実
- (2) 青少年健全育成活動の推進と社会参加の促進
- (3) 読書活動の推進

3 社会教育施設の有効活用

- (1) 社会教育団体活動の推進と支援
- (2) 社会教育施設の長寿命化対策の推進（環境の整備）

III かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興

市民の豊かな情操と潤いのある生活の実現をめざし、かおり高い芸術文化とのふれあいと創造する力を養うとともに、先人からの貴重な遺産である文化財の保護と活用に努める。

市民のスポーツ環境を整備するとともに、誰もが生涯にわたりスポーツに親しむ機会や、交流の場等の提供に努める。

1 芸術文化活動の推進

- (1) 芸術文化鑑賞機会の確保と自主活動の奨励
- (2) 地域文化活動の推進
- (3) 部活動地域展開等の推進

2 文化財の保護と活用の推進

- (1) 文化財の保護思想の普及と保護体制の整備
- (2) 文化財や歴史資料の保存・活用の推進
- (3) 民俗芸能の保護・支援
- (4) 開発等に伴う埋蔵文化財発掘調査の推進
- (5) 原遺跡発掘調査の推進

3 生涯スポーツの振興

- (1) スポーツ団体及び指導者の育成・支援
- (2) 部活動地域展開等の推進
- (3) スポーツ施設活用の促進（学校施設開放による活用・支援）
- (4) 市内開催の全国的、全県的大会の支援

4. 教育委員



(教育長) 川 浩 市



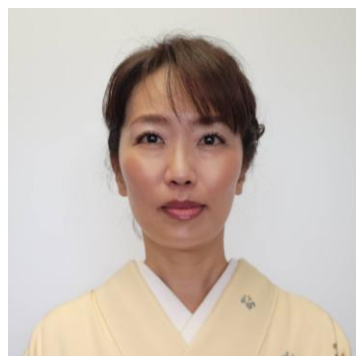
(職務代理者) 南 舘 公 雄
〔令和6年10月8日職務代理者就任〕



山 田 芳 弘



江 里 美 穂 子



木 村 紀 子

5. 歴代教育委員

① 教育委員（教育長以外）

氏 名	就任年月日	退任年月日
鎌 田 喜 善	昭 和 3 1 年 1 0 月 1 日	昭 和 3 2 年 9 月 3 0 日
中 畑 す み	昭 和 3 1 年 1 0 月 1 日	昭 和 5 4 年 9 月 3 0 日
板 橋 英太郎	昭 和 3 1 年 1 0 月 1 日	昭 和 3 4 年 4 月 2 日
松 岡 賛 三	昭 和 3 1 年 1 0 月 1 日	昭 和 3 5 年 9 月 3 0 日
渡 辺 信 一	昭 和 3 2 年 1 0 月 1 日	昭 和 3 3 年 1 0 月 3 日
白 幡 恒 雄	昭 和 3 4 年 1 0 月 6 日	昭 和 3 7 年 2 月 1 7 日
渡 辺 鮮 三	昭 和 3 4 年 5 月 1 1 日	昭 和 3 7 年 1 0 月 4 日
桜 井 清一郎	昭 和 3 5 年 1 0 月 1 日	昭 和 4 7 年 9 月 3 0 日
森 喜 吉	昭 和 3 7 年 2 月 1 8 日	昭 和 3 8 年 3 月 3 1 日
関 谷 藤 助	昭 和 3 7 年 1 0 月 5 日	昭 和 4 7 年 9 月 3 0 日
高 橋 比呂志	昭 和 3 8 年 1 0 月 4 日	昭 和 6 1 年 1 0 月 3 日
猪 股 琢 磨	昭 和 4 7 年 1 0 月 9 日	昭 和 5 0 年 3 月 1 9 日
田 村 昌	昭 和 4 7 年 1 0 月 9 日	昭 和 5 9 年 1 0 月 8 日

氏 名	就任年月日	退任年月日
佐 藤 武	昭 和 5 0 年 3 月 2 2 日	昭 和 5 9 年 1 0 月 8 日
高 橋 キイ子	昭 和 5 4 年 1 0 月 4 日	昭 和 6 2 年 1 0 月 3 日
佐 藤 敏 男	昭 和 5 9 年 1 0 月 9 日	平 成 4 年 1 0 月 8 日
安 田 莊十郎	昭 和 5 9 年 1 0 月 9 日	平 成 4 年 3 月 3 1 日
小 川 義 則	昭 和 6 1 年 1 0 月 4 日	平 成 2 年 1 0 月 3 日
曾 我 登美子	昭 和 6 2 年 1 0 月 4 日	平 成 3 年 1 0 月 3 日
高 橋 美由紀	平 成 2 年 1 0 月 4 日	平 成 2 6 年 1 0 月 3 日
小 野 秀 夫	平 成 3 年 1 0 月 4 日	平 成 7 年 1 0 月 3 日
砂 金 勲	平 成 4 年 4 月 1 日	平 成 8 年 1 0 月 8 日
佐 藤 雅 晴	平 成 4 年 1 0 月 9 日	令 和 6 年 1 0 月 8 日
芳 賀 盛	平 成 7 年 1 0 月 4 日	平 成 1 1 年 1 0 月 3 日
曾 我 庸 子	平 成 8 年 1 0 月 9 日	平 成 2 4 年 1 0 月 8 日
木 下 勢 子	平 成 1 1 年 1 0 月 4 日	平 成 1 9 年 1 0 月 3 日
藤 川 チユキ	平 成 1 9 年 1 0 月 4 日	令 和 元 年 1 0 月 3 日
小 林 修 子	平 成 2 4 年 1 0 月 9 日	令 和 6 年 1 0 月 8 日
南 舘 公 雄	平 成 2 6 年 1 1 月 1 日	
氏 家 真由美	令 和 元 年 1 0 月 4 日	令 和 5 年 1 0 月 3 日
木 村 紀 子	令 和 5 年 1 0 月 4 日	
山 田 芳 弘	令 和 6 年 1 0 月 9 日	
江 里 美穂子	令 和 6 年 1 0 月 9 日	

② 教育長

氏 名	就任年月日	退任年月日
服 部 善 吉	昭 和 3 1 年 1 0 月 1 日	昭 和 3 3 年 9 月 3 0 日
渡 辺 信 一	昭 和 3 3 年 1 0 月 4 日	昭 和 3 6 年 9 月 3 0 日
井 口 一 郎	昭 和 3 6 年 1 0 月 1 日	昭 和 4 0 年 9 月 3 0 日
平 賀 吉 郎	昭 和 4 0 年 1 0 月 1 日	昭 和 5 1 年 3 月 3 1 日
八 島 元 悠	昭 和 5 1 年 6 月 1 2 日	昭 和 5 6 年 8 月 6 日
遠 藤 幸四郎	昭 和 5 6 年 8 月 1 7 日	平 成 元 年 9 月 3 0 日
須 藤 泰 将	平 成 元 年 1 0 月 1 日	平 成 5 年 9 月 3 0 日
葉 坂 恒 夫	平 成 5 年 1 0 月 1 日	平 成 1 2 年 3 月 3 1 日
砂 金 勲	平 成 1 2 年 4 月 1 日	平 成 1 4 年 1 2 月 3 1 日
影 山 一 郎	平 成 1 5 年 1 月 1 日	平 成 2 5 年 9 月 3 0 日
百 井 崇	平 成 2 5 年 1 0 月 1 日	令 和 5 年 9 月 3 0 日
及 川 浩 市	令 和 5 年 1 0 月 1 日	

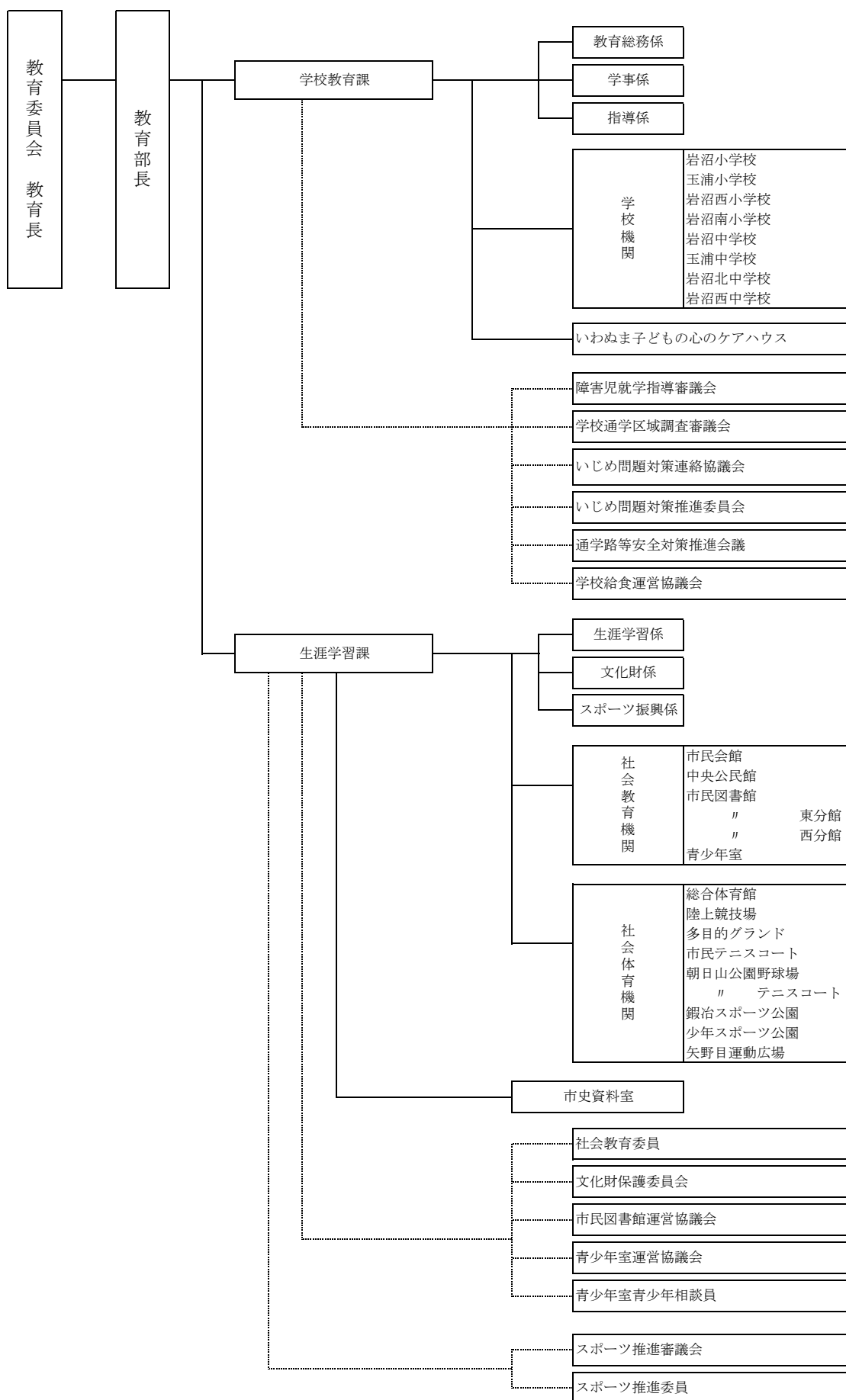
6. 教育のあゆみ

年号		事項	年号		事項
明治6	1873	小学校が6校開校（小川・南長谷・岩沼・本郷・下野郷・早股）	56	1981	岩沼市民テニスコート開設
12	1879	早股学区より寺島小学校（寺島分校）を分離			玉浦小学校校舎完成（鉄筋校舎）
22	1889	町村制で岩沼町・千貫村・玉浦村となる。	57	1982	岩沼中学校校舎増築
25	1892	下野郷・早股小学校が合併し玉浦小学校となる。			岩沼小学校管理棟完成
28	1895	玉浦小学校相野釜分教場（後、相野釜分校）設置	59	1984	岩沼市文化協会設立
35	1902	千貫小学校志賀分教場（後、志賀分校）設置			西公民館開館
大正7	1918	玉浦村立玉浦通俗図書館創立			岩沼市図書館東・西分館開設
9	1920	南長谷・小川小学校が合併し千貫小学校となる。	61	1986	岩沼西中学校開校（北中から分離、岩中を含め学区を一部変更）
昭和22	1947	学制改革による岩沼中・玉浦中・千貫中開校			岩沼市民会館・中央公民館開館
		千貫・玉浦・岩沼の3地区に公民館設置	62	1987	岩沼西小学校増築
		岩沼小に学校給食施設設置			第1回第九演奏会
23	1948	岩沼高等女学校にかわり、名取高等学校設置	63	1988	岩沼北中学校改築（一部木造）
25	1950	千貫小学校校舎火災（現三色吉）			岩沼市図書館児童閲覧室増築
26	1951	岩沼ではじめて発掘調査が行われる。	平成元	1989	第1回市民文化芸術祭
27	1952	教育委員会できる。（委員公選制）	2	1990	岩沼市陸上競技場オープン
30	1955	旧岩沼町、玉浦、千貫村合併し、「岩沼町」ができる。	4	1992	第1回いわぬまエアポートマラソン
		初の鉄筋プール岩小にできる。	5	1993	岩沼北中学校給食施設設置及び開始
31	1956	教育委員任命制になる。			岩沼市総合体育館開館
32	1957	玉浦小中学校矢野目分校（ベッツスクール）開校	6	1994	岩沼西小学校給食室増築
35	1960	玉浦小中学校矢野目分校廃校			岩沼西中学校給食施設設置及び開始
37	1962	岩沼北中学校開校（千貫中学校閉校し岩沼中を含め学区を一部変更）			玉浦中学校屋内運動場改修
39	1964	岩沼中学校校舎火災（現大手町）	8	1996	玉浦小・玉浦中学校プール改修
40	1965	岩沼中学校完成			岩沼市生涯学習基本構想策定
41	1966	岩沼公民館完成			岩沼中学校校舎改築
43	1968	玉浦中学校完成			岩沼中学校給食施設設置及び開始
45	1970	千貫小学校志賀分校廃校			玉浦中学校給食開始（北中からの搬送）
		岩沼小学校校舎建設	9	1997	岩沼市図書館貸出業務OA化
		阿武隈公園グラウンド開設	10	1998	玉浦小学校下野郷・寺島両分校廃校
46	1971	岩沼町立学習館設置			教育委員会事務局組織改正
		「岩沼市」へ市制施行			玉浦中学校校舎、屋内運動場改築
		ことばの教室（岩小）開設			玉浦中学校給食施設設置
47	1972	岩沼市民体育センター開館	11	1999	岩沼小学校北校舎大規模改造及び耐震補強
48	1973	玉浦小学校相野釜分校廃校	12	2000	小学校教材用コンピュータ導入（4小）
49	1974	玉浦公民館開館			陸上競技場3,000m障害走用水濠設置
		市営二の倉海浜プール落成			玉浦幼稚園、玉浦小学校へ併設移転
50	1975	岩沼市図書館開館			小学校指導助手導入
51	1976	市立玉浦幼稚園開園	13	2001	玉浦小学校屋内運動場改築
52	1977	千貫小学校及び千貫小学校南長谷分校廃校			児童生徒用A版机整備（～2004）
		岩沼西小学校開校（岩沼小を含め学区を一部変更）			インターネット接続（4小・4中）
		小学校週2回米飯給食実施			ユニーク先生活用事業導入
53	1978	宮城県沖地震（震度5、各学校被害大）	14	2002	岩沼市民テニスコート改修
54	1979	岩沼南小学校開校（岩沼小から分離、岩沼西小を含め学区を一部変更）			特別支援指導助手導入
55	1980	岩沼市青少年家庭教育相談室開設	15	2003	耐震度調査の実施（西小南校舎）
		第1回公民館まつり			図書館情報インターネット公開システム導入
			16	2004	玉浦幼稚園閉園
					耐震度調査（西小北校舎・南校舎・体育館）
					耐震度調査（南小校舎・体育館）
			17	2005	耐震度調査（玉小校舎・岩中東校舎・岩中体育館）
					耐震度調査（岩小体育館・北中体育館）
					放課後子ども教室推進事業（のびやか教室）開始

年号	事項	年号	事項
平成18	2006 只野文哉記念小中学校科学技術奨励事業開始 耐震補強工事（岩小体育館・西小校舎・南小体育館・岩中校舎・北中体育館） 岩沼公民館閉館	令和3	2021 小中学校校内ネットワーク整備業務（3.2月） 国名勝おくのほそ道の風景地「武隈の松」保存活用計画策定（3.3月） 朝日山公園野球場、テニスコート改修工事完了（3.3月） 小中学校8校の体育館に換気補助送風機設置（3.3月） 新型コロナウイルス感染防止のため公共施設休館（R3.3.27～R3.5.11、R3.8.27～R3.9.12） 市民会館空調設備改修工事完了（2.9月着工～3.6月完成） 学び支援教室「ほっとルーム」西中設置（R3.4月）
19	2007 耐震補強工事（岩中・学校耐震対策完了） 岩沼西小学校特別教室増設	令和4	2022 中学校普通教室プロジェクター及び映写兼用黒板整備（R4.1月） 西公民館閉館（R4.3.31） 西コミュニティセンター開館（R4.4月） 統合型校務支援システム本格稼働（R4.4月） 学び支援教室「ほっとルーム」北中設置（R4.4月）
20	2008 教育委員会点検評価開始 新市史編纂開始 岩沼中学校屋内運動場改築	令和5	2023 小学校普通教室プロジェクター及び映写兼用黒板整備（R5.1月） 生涯学習課が市民会館・中央公民館へ移動（R5.4月） 教育総務課が学校教育課に統合（R5.4月） 文部科学省リーディングDXスクール事業指定（R5.4月） 岩沼小、玉浦小、開校150周年（R5.7月） 休日における中学校の部活動の段階的な地域移行の取組を開始（R5.10月） いわぬまスポーツフェスティバル（第1回）開催（R5.12月）
21	2009 新図書館建設着工 夢あこがれプロジェクト事業開始 日本PTA全国研究大会みやぎ大会開催 走査型電子顕微鏡購入	令和6	2024 全国ICT教育首長協議会第6回日本ICT教育アワード総務大臣賞受賞（R6.1月） JAET（日本教育工学協会）から学校情報化先進地域として認定を受ける（R6.4月） 市民会館・中央公民館北側及び東側駐車場有料化（R6.4月） 岩沼市民体育センター廃止（R6.4月） 岩沼西小長寿命化工事開始（R6.6月） 日本基督教団岩沼教会が国の登録有形文化財として指定される（R6.8月） 岩沼西小学校、玉浦中学校の給食室に空調設備を設置（R6.9月） 就学時健康診断を各小学校実施から総合体育館実施（教委主体）に変更（R6.10月） 竹駒神社馬事博物館所蔵の伊達政宗騎馬石膏像が岩沼市有形文化財に指定（R7.3月） 岩沼中学校、玉浦中学校に登校支援専門員の配置を開始（R7.4月） 岩沼市学び支援教室、岩中、玉中設置（R7.4月） AIドリルの導入（R7.4月） 市民会館大ホール客席改修 大ホール・中ホール舞台機構改修（R7.1月着工～5月完成） 岩沼小、玉浦小、岩沼南小、岩沼中、岩沼北中岩沼西中の給食室に空調設備設置（R7.9月）
23	2011 東日本大震災（震度6弱、各学校被害大） 玉浦小・中学校は津波により特に被害大 岩沼市民図書館開館 寺島学習館、二の倉海浜プール閉館	令和8	2026 玉浦地区コミュニティ・スクール発足（R8.2月）
24	2012 岩沼西中学校増築校舎完成（24.2月）		
25	2013 下野郷学習館閉館		
26	2014 岩沼北中学校 給食調理業務委託開始（26.1月） 武隈の松（二木の松）が「おくのほそ道の風景地」として国名勝に指定される（26.3月）		
27	2015 岩沼中・玉浦中・岩沼西中学校 給食調理業務委託開始（27.2月） 第1回岩沼市総合教育会議開催（27.5月） 学力向上推進事業（学び塾）開始		
28	2016 岩沼に愛着を持つ人材育成事業開始 岩沼小学校・玉浦小学校トイレ洋式化大規模改修工事完了 岩沼市学校施設長寿命化計画策定 原遺跡発掘調査開始		
29	2017 玉浦コミュニティセンター開館 玉浦公民館閉館（H29.4.30） 岩沼西小学校・岩沼南小学校トイレ洋式化大規模改修工事完了		
30	2018 玉浦小学校・岩沼西小学校 給食調理業務委託開始（30.2月） 岩沼北中学校・岩沼西中学校トイレ洋式化大規模改修工事完了 陸上競技場走路・フィールド改修工事完了		
31	2019 岩沼小学校・岩沼南小学校 給食調理業務委託開始（31.2月） 体育施設指定管理者制度導入（31.4月） 各小中学校・普通教室へのエアコン設置完了（30.12月着工～元.6月完成） いわぬま子どもの心のケアハウス運営開始（元.7月） 部活動支援事業開始（元.12）		
令和元			
令和2	2020 新型コロナウイルス感染拡大防止のため小中学校臨時休業（R2.3.2～R2.5.31） 公共施設休館（R2.2.29～R2.5.17） 岩沼中学校トイレ洋式化大規模改修工事完了（2.3月） 玉浦小学校体育館天井防災機能強化改修工事完了（2.10月） 玉浦中学校トイレ洋式化大規模改修工事完了（2.12月） 岩沼西小学校体育館長寿命化改良工事完了（元.11月着工～2.12月完成） 小中学校学習者用端末（タブレット）整備業務（2.12月）	令和7	2025

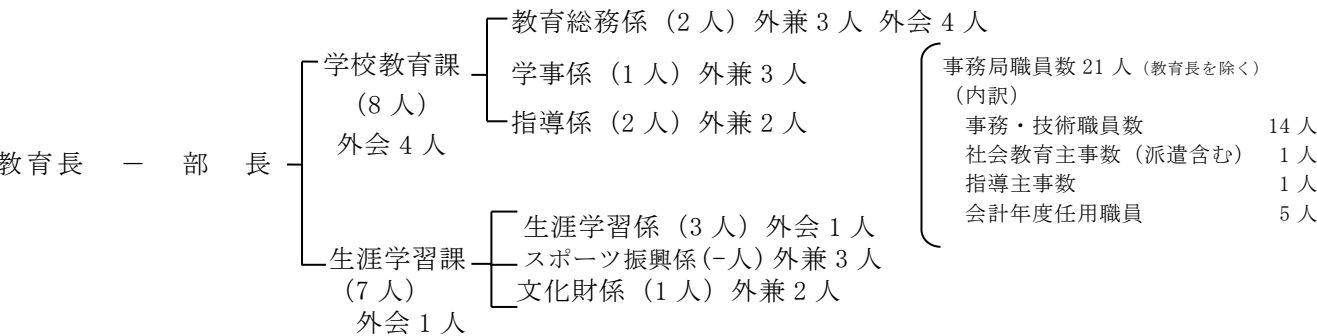
年号		事項	年号		事項
令和8	2026	市町村給食費負担軽減補助金の開始により 小学校の給食費が実質無償化（R8. 4月）			

教育委員会組織機構



8. 教育委員会職員の状況 (令和8年5月1日現在)

事務局



教育機関

区分		県費負担教職員								市費職員								合計
		校長	教頭	主幹教諭	教諭	講師等	養護教諭	栄養教諭・技師	事務職員	計	栄養士	登校支援専門員	業務員	司書・図書業務	補助教員	教育支援員	計	
小学校	岩小	1	1	1	26	5	2	1	1	38	0	0	2	2	3	2	9	47
	玉小	1	1	1	18	1	2	0	1	25	1	0	2	1	4	1	9	34
	西小	1	2	1	40	8	2	1	2	57	0	0	2	2	4	4	12	69
	南小	1	1	1	25	1	1	0	2	32	1	0	2	1	3	2	9	41
	小計	4	5	4	109	15	7	2	6	152	2	0	8	6	14	9	39	191
中学校	岩中	1	1	1	17	3	1	1	1	26	0	1	2	兼1	2	0	5	31
	玉中	1	1	1	13	3	1	0	1	21	2	1	2	兼1	1	0	6	27
	北中	1	1	1	15	4	1	0	1	24	1	0	2	1	1	2	7	31
	西中	1	1	1	21	3	1	0	1	32	1	0	2	1	1	2	7	39
	小計	4	4	4	66	13	4	1	4	100	4	2	8	2	5	4	25	125
合計		8	9	8	175	28	11	3	10	252	6	2 (2)	16 (13)	8 (7)	19 (19)	13 (13)	64 (54)	316

※育休者数を含む。「兼」は兼務職員。括弧書き人数は会計年度任用職員数である。

- 市民会館 (3人) 外兼4人 外会2人 外兼会1人
 - 中央公民館 (3人) 外兼4人 外兼会2人
 - 市民図書館 (3人) 外兼1人 外会12人
 - 市史資料室 (-人) 外兼3人 外会2人
 - 青少年相談室 (-人) 外兼2人 外兼会1人
 - ふるさと展示室 (1人) 外兼2人 外会3人
※生涯学習課文化財係再掲
 - 子どもの心のケアハウス (-人) 外会7人
- 教育機関職員数 351人 (※再掲数を除く)
(内訳)
県費負担教職員数 252人
市費負担正職員数 19人
会計年度任用職員数 80人

9. 東日本大震災について

平成 23 年 3 月 11 日金曜日午後 2 時 46 分、三陸沖を震源とするマグニチュード 9.0 の地震が発生し、岩沼市は震度 6 弱の激しい揺れにみまわれ、その後に襲来した高さ 8m を超える大津波により県道塩釜亘理線から東の区域では、多くの人命が奪われ住居が流出するなど未曾有の大災害となった。

地震と津波は公共施設や道路・橋梁に大きな爪痕を残したが、津波被害を受けた玉浦小中学校を含む市内全小中学校は、元の場所で平成 23 年 4 月 21 日から再開、生涯学習施設は準備の整った施設から逐次再開し、市街地型公共施設として計画された市民図書館は予定通り平成 23 年 5 月 28 日に開館の運びとなった。社会体育施設で最も被害が大きかった総合体育館は、平成 24 年 9 月から始まった大規模修繕により平成 25 年 12 月に再開した。

被災された方々の地域コミュニティを守る形で、希望者全員に順次仮設住宅に入居していただき、平成 23 年 6 月 4 日には被災地で最初に避難所を閉鎖することができた。心のケアなどのサポートセンターも、いち早く開設、震災復興計画「愛と希望の復興」を他の被災市町よりも先駆けて策定、その具現化に向けた各種事業等を行ってきた。

集団移転事業がいち早く国の認可を受けたことにより、平成 24 年 8 月 5 日に玉浦西地区の個人住宅宅地の起工式、平成 25 年 12 月、平成 26 年 3 月及び 4 月の 3 期にて宅地引き渡しを完了。平成 26 年 4 月 16 日には災害公営住宅の起工式を行い、平成 27 年 2 月には入居が始まった。震災から 5 年をかけて仮設住宅の入居者全員が自立し、平成 28 年 4 月 28 日、県内沿岸被災地では初となる仮設住宅の閉所式を行った。

また、人が住めなくなった土地を活用して震災ガレキを用いた、復興のシンボル「千年希望の丘」を整備した。平成 25 年 6 月 9 日に第 1 回植樹祭を行い、約 30,000 本の苗を植樹。その後も植樹、育樹活動が続き、約 35 万本の木々により「緑の堤防」を形成している。この場所は、震災の記憶や教訓を国内外に発信するメモリアル公園と防災教育の場として活用されている。

なお、平成 27 年 3 月 13 日、当時の天皇皇后両陛下が本市を訪問され、慰霊碑に御供花のうえ、復興状況を御視察された。

1 岩沼市全体の被害（平成 26 年 3 月刊「東日本大震災岩沼市の記録」より）

(1) 人的被害

直接死 180 人（死体確認数）※①+③の合計数

間接死 6 人（当該災害が原因で死亡）

①市内で亡くなった市民 133 人（小学生 1 人、中学生 2 人を含む）

②市外で亡くなった市民 16 人

③市内で亡くなった市外居住者 47 人

行方不明 1 人（戸籍法に基づく死亡の届出あり）

(2) 住居被害

全壊 736 戸、大規模半壊 509 戸、半壊 1097 戸、一部損壊 3086 戸、計 5428 戸

床上浸水 1611 棟、床下浸水 114 棟、非住家被害 3126 棟

(3) 道路橋梁の被害

道路被災：198 路線、239 か所

橋梁被災：19 橋

2 教育委員会所管施設の被害状況

(1) 小・中学校

施設名	被害状況
岩沼小学校	敷地内タイルなどに亀裂、破損
玉浦小学校	校舎1階、体育館の床上浸水、校庭に20cmの汚泥堆積
岩沼西小学校	エキスパンションジョイント多数破損、校舎全般に亀裂
岩沼南小学校	エキスパンションジョイント多数破損、校庭と花壇の陥没
岩沼中学校	体育館天井・周辺側溝破損、給食設備の破損
玉浦中学校	校庭に20cmの汚泥堆積、体育館外壁と敷地フェンス破損
岩沼北中学校	体育館軒裏天井落下及び窓ガラスの破損
岩沼西中学校	体育館外壁・天井パネル・照明の破損、敷地フェンス破損

(2) 社会教育施設

施設名	被害状況
市民会館 中央公民館	建物壁及び床に亀裂、建物周辺のタイル・舗装などが破損 舞台装置及び天井裏設備の破損
玉浦公民館	1階の床上浸水による床、建具、空調機器などの破損
岩沼西公民館	地盤沈下による駐車場破損、建物周りの側溝破損
下野郷学習館	1階の床上浸水による床、建具、空調機器などの破損 五間堀川拡張工事に伴い解体（平成27年3月）
寺島学習館	津波による被害で復旧が困難となり解体

(3) 社会体育施設

施設名	被害状況
総合体育館	建物本体と屋根とのジョイント部分の大規模破損
市民体育センター	天井の落下、内壁の破損
陸上競技場	走路部分に亀裂
朝日山公園 野球場・テニスコート	テニスコート面に亀裂
矢野目運動広場	津波による汚泥の堆積、トイレ設備の破損
二の倉海浜プール	津波による被害で復旧が困難となり解体
阿武隈川サイクリングコーストイレ	津波による被害で復旧が困難となり解体
多目的グラウンド	仮設住宅敷地のため、一時使用中止 （平成28年10月30日に利用再開）

(4) 指定文化財（種別は東日本大震災発生当時のもの）

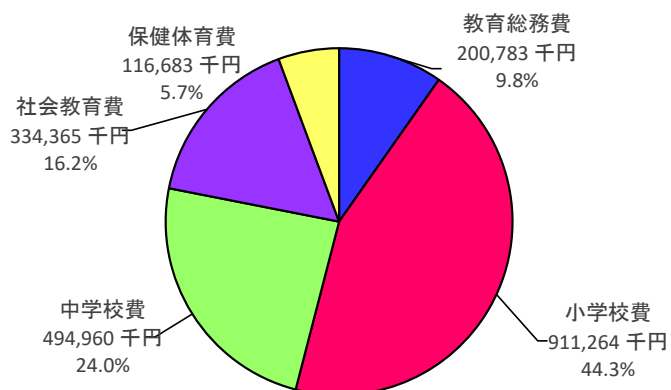
種 別			名 称	被害状況
県指定	記念物	史跡	かめ塚古墳	なし
市指定	有形文化財	絵画	米づくりの額、藍づくりの額	なし
		建造物	竹駒神社楼門（隨身門）	ズレと傾斜発生
			竹駒神社向唐門	なし
	無形民俗文化財		竹駒奴	なし
	記念物	名勝	武隈の松（二木の松）	なし
			渡邊庭園	石灯籠倒壊

10. 教育財政（令和8年度当初予算）

○教育予算 2,058,055千円

【歳入】	
	金額(千円)
一般財源	1,291,422
国県支出金	381,598
使用料	188,132
基金繰入金	103,920
市債	79,500
その他	13,483

【歳出】



令和8年度に予定している大規模工事等

- 岩沼西小学校校舎長寿命化改修工事(第Ⅲ期)
- 玉浦小学校校舎、玉浦中学校校舎等LED工事
- 岩沼南小学校校舎屋上防水改修工事
- 岩沼小学校給食室床面修繕

○一般会計と教育予算

(千円)

年 度	一般会計	教育費	比率%
平成23	14,055,000	1,591,668	11.3
24	32,394,000	1,439,294	4.4
25	47,763,000	1,472,262	3.1
26	28,095,000	1,465,213	5.2
27	32,437,000	1,760,851	5.4
28	18,568,000	1,529,530	8.2
29	20,151,000	1,453,556	7.2
30	19,740,000	1,837,520	9.3
31	18,409,000	1,607,851	8.7
令和2	18,537,000	2,000,436	10.8
3	17,165,000	2,009,215	11.7
4	17,400,000	1,590,546	9.1
5	18,157,000	1,610,243	8.9
6	19,387,000	1,793,999	9.3
7	19,985,000	1,768,883	8.9
8	21,565,000	2,058,055	9.5

Ⅲ 学校教育

1. 学校施設一覧

1 小学校

区 分 学校名	建物（㎡）						校地（㎡）
	非木造	木造	計	校舎		屋内運動場	
					給食室		
岩 沼 小 学 校	7,084.96	0	7,084.96	5,480.73	199.00	1,300.00	21,238.59
玉 浦 小 学 校	5,008.94	39.31	5,048.25	3,608.06	131.00	1,281.32	21,383.00
岩 沼 西 小 学 校	8,896.89	1.70	8,898.59	7,639.59	226.17	969.23	26,073.64
岩 沼 南 小 学 校	7,088.74	0	7,088.74	5,575.32	186.00	1,200.00	22,587.89
計	28,079.53	41.01	28,120.54	22,303.70	742.17	4,750.55	91,283.12

2 中学校

区 分 学校名	建物（㎡）						校地（㎡）
	非木造	木造	計			屋内運動場	
				校舎	給食棟・室		
岩 沼 中 学 校	8,539.76	19.44	8,559.20	6,145.23	258.00	1,774.00	28,053.45
玉 浦 中 学 校	6,834.86	19.44	6,854.30	4,652.99	534.00	1,744.17	28,815.94
岩 沼 北 中 学 校	5,065.08	1,037.66	6,102.74	4,729.30	299.20	1,017.51	25,966.96
岩 沼 西 中 学 校	7,502.93	0	7,502.93	5,598.40	299.40	1,215.00	33,166.10
計	27,942.63	1,076.54	29,019.17	21,125.92	1,390.60	5,750.68	116,002.45

2. 児童・生徒数の推移

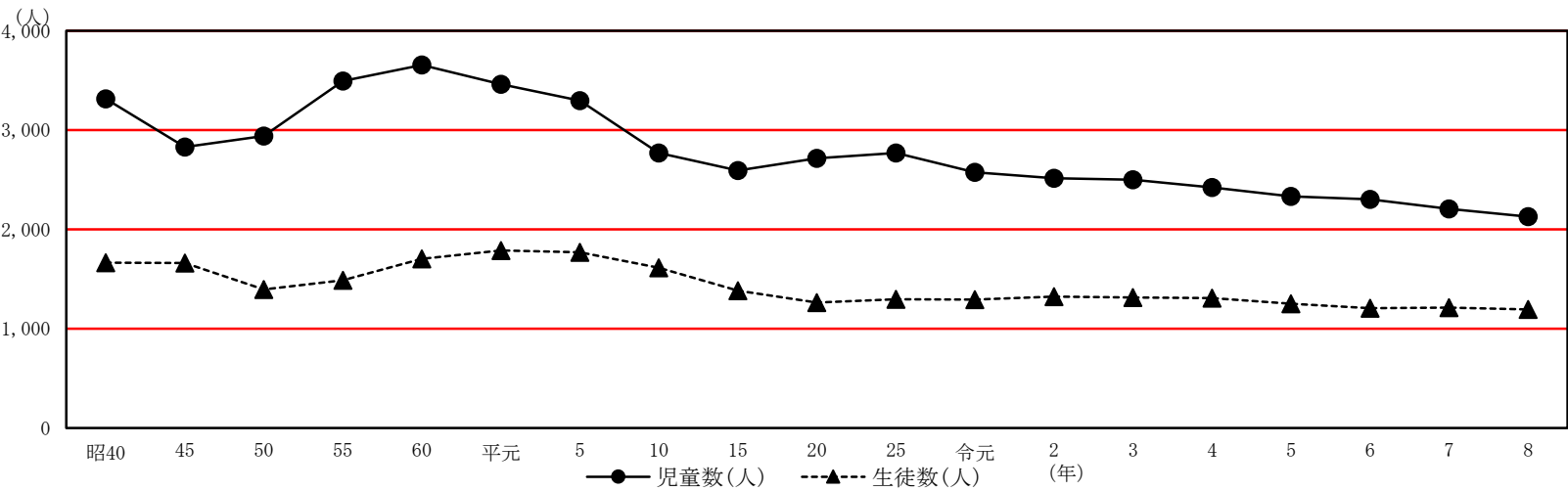
1 小学校 (令和8年5月1日現在)

年度	昭40	45	50	55	60	平元	5	10	15	20	25	令元	2	3	4	5	6	7	8
学校数	(5) 8	(4) 7	(3) 6	(2) 6	(2) 6	(2) 6	(2) 6	 4	 4	 4	 4	 4	 4	 4	 4	 4	 4	 4	 4
学級数	(4) 91	(5) 84	(7) 89	(8) 99	(7) 105	(8) 106	(8) 105	(8) 90	(13) 91	(10) 91	(14) 96	(17) 95	(16) 90	(16) 92	(17) 91	(17) 89	(19) 91	(19) 90	(19) 88
児童数(人)	3,316	2,829	2,940	3,494	3,655	3,460	3,298	2,771	2,592	2,717	2,770	2,576	2,516	2,501	2,423	2,331	2,302	2,207	2,128

2 中学校 (令和8年5月1日現在)

学校数	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
学級数	(2) 48	(4) 46	(2) 37	(1) 40	(2) 45	(4) 51	(4) 55	(5) 52	(7) 47	(7) 46	(8) 48	(9) 48	(10) 51	(11) 53	(12) 50	(9) 45	(11) 47	(10) 47	(10) 46
生徒数(人)	1,664	1,661	1,394	1,488	1,705	1,788	1,770	1,613	1,383	1,264	1,296	1,292	1,324	1,315	1,308	1,250	1,205	1,213	1,194

※ () は、分校数及び特別支援学級数を内書 ※令和8年度より中2、中3は35人学級となる。



3. 学校別児童・生徒数

1 小学校

(令和8年5月1日現在 上段：学級数、下段：児童数)

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計
岩沼小学校	3 72	2 61	3 75	3 78	2 66	3 99	4 20	20 471
玉浦小学校	2 47	2 56	2 56	2 56	2 65	3 76	2 11	15 367
岩沼西小学校	4 127	4 137	4 131	4 119	5 146	4 136	7 35	32 831
岩沼南小学校	2 63	3 84	2 65	3 75	2 59	3 84	6 29	21 459
計	11 309	11 338	11 327	12 328	11 336	13 395	19 95	88 2,128

2 中学校

(令和8年5月1日現在 上段：学級数、下段：生徒数)

学校名	1年	2年	3年	特別支援	計
岩沼中学校	4 108	4 131	3 90	2 8	13 337
玉浦中学校	2 54	2 77	2 59	2 9	8 199
岩沼北中学校	2 52	2 64	2 61	3 9	9 186
岩沼西中学校	5 164	4 154	4 145	3 9	16 472
計	13 378	12 426	11 355	10 35	46 1,194

4. 私立幼稚園児数

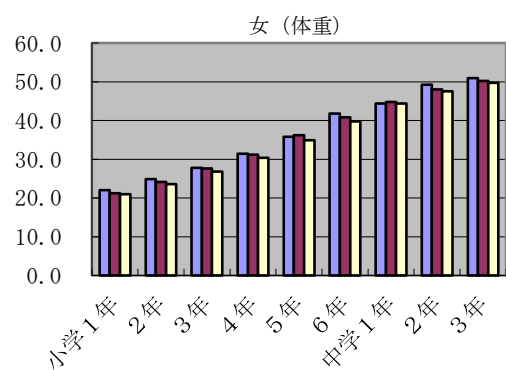
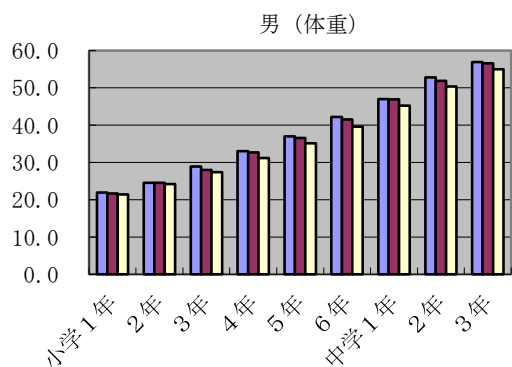
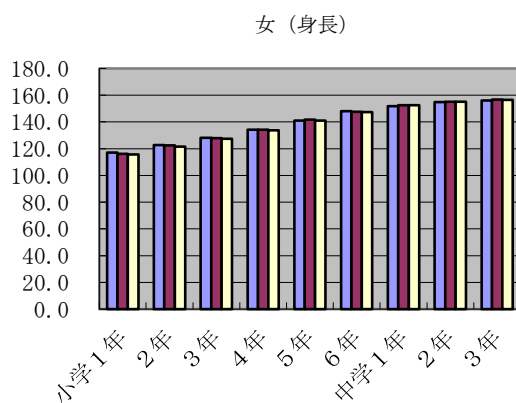
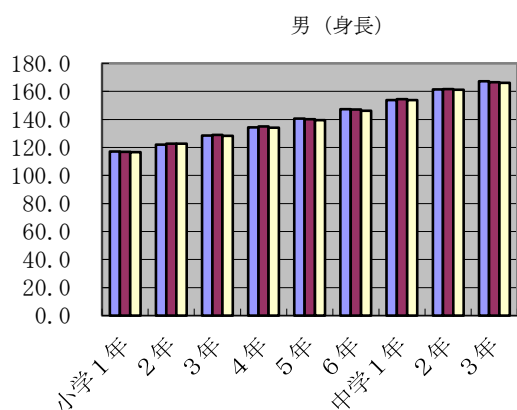
(令和8年5月1日現在 単位：人)

園名	3歳児	4歳児	5歳児	計
岩沼さくら幼稚園	38	40	51	129
岩沼南こばと幼稚園	39	47	61	147
計	77	87	112	276

5. 児童・生徒の体位状況

性別		男					女				
区分		岩沼市			宮城県	全国	岩沼市			宮城県	全国
年度		H20	H25	R7	R7	R7	H20	H25	R7	R7	R7
身長 (cm)	小学1年	116.9	116.6	117.0	116.8	116.6	116.1	115.9	117.1	116.1	115.6
	2年	123.0	123.0	122.0	122.7	122.7	121.7	121.9	122.7	122.5	121.6
	3年	128.5	128.1	128.6	129.0	128.3	127.1	128.2	128.0	127.9	127.5
	4年	133.9	134.5	134.3	134.9	134.0	133.9	134.2	134.1	134.3	133.8
	5年	139.7	139.1	140.5	140.2	139.5	140.3	140.4	140.9	141.7	140.9
	6年	145.7	145.1	147.3	147.1	146.1	147.2	146.8	148.0	147.6	147.4
	中学1年	153.6	153.2	153.8	154.5	153.8	151.7	152.0	151.9	152.6	152.4
	2年	160.2	160.3	161.5	161.7	161.1	155.3	154.8	154.9	155.2	155.0
	3年	166.6	165.4	167.2	166.5	166.1	157.6	155.8	156.1	156.7	156.4
体重 (kg)	小学1年	22.0	21.5	21.9	21.7	21.4	21.4	21.1	22.0	21.2	21.0
	2年	24.7	24.6	24.5	24.5	24.2	23.8	23.7	24.9	24.1	23.6
	3年	28.0	27.3	28.9	28.0	27.4	26.8	27.2	27.8	27.6	26.8
	4年	31.3	32.3	33.0	32.7	31.2	30.7	30.8	31.4	31.2	30.4
	5年	36.1	34.8	37.0	36.6	35.1	34.3	34.8	35.8	36.2	34.9
	6年	40.0	39.7	42.2	41.5	39.6	40.4	39.9	41.8	40.8	39.8
	中学1年	45.4	45.1	47.0	46.9	45.2	45.2	44.3	44.4	44.8	44.4
	2年	49.9	50.7	52.8	51.9	50.4	48.4	47.4	49.2	48.0	47.5
	3年	56.8	55.4	56.9	56.6	55.0	51.5	50.5	50.9	50.2	49.7

宮城県平均値：令和7年度文部科学省学校保健統計値
 全国平均値：令和7年度文部科学省学校保健統計値



■岩沼市令和7年 ■宮城県令和7年
 □全国令和7年

岩沼小学校



郵便番号	989-2432	創立日	明治6年6月
住所	岩沼市中央二丁目1番1号	開校記念日	6月26日
電話番号	0223-22-2145	校木	プラタナス
FAX番号	0223-22-2146	校長	樋川 研吾
メール	chief1@iwasho.iwanuma-ed.jp	児童数・学級数	児童数：471人 学級数：20
ホームページ	https://sites.google.com/gs.myswan.ed.jp/iwasho-iwanuma-ed/		

学校教育目標

『共に学び合う、心豊かで心身共に健康な児童の育成』

目指す児童（生徒）像

(知) ふかく考え工夫する子 → 学びあい
 (徳) なかよくたすけ合う子 → 支えあい
 (体) 心と体をきたえる子 → 高めあい

あい
i がある岩小！

+ あいさつ + i (自己)

目指す学校像

- (1) 創意と活力に満ちたしなやかで（柔軟で）たくましい（創造的な）学校
- (2) 一人一人の児童を大切にする学校
- (3) 歴史と伝統を大切にし、地域と共に歩む学校

目指す教師像

- (1) 学び合い、支え合い、高め合う教職員
- (2) 子どもを真ん中におき、寄り添う教職員
- (3) 資質向上に向けて努力・挑戦する教職員

学校経営方針

- (1) 教育D Xの一層の推進と業務の効率化→主体的・対話的で深い学びの追求
- (2) 安全・安心な学校環境整備→学校内外の事故の未然防止
- (3) 教育D Xの活用を通じた業務の効率化→職員のワークライフバランスの追求
- (4) 特別な支援を必要とする児童への細やかな対応→家庭や地域との一層の連携
- (5) 「全児童を全職員で」→従来の学級担任制からの脱却
 =学年担任制、教科担任制などを強く意識した取組改革

今年度の経営の方向と重点目標及び具体策

【知育】

1 意欲の湧く分かりやすい授業づくり

「個別最適な学びと協働的な学び」の一体化を目指す指導方法の工夫改善に取り組む。

児童自身で学びを調整し、自立して主体的に学ぼうとする意欲を高めるような授業づくりを行う。

(1) 質の高い授業の追求 <Teaching + Coaching>

(2) ICT 教育「まなび i 岩小スタイル」の充実、

- ・ 自ら「考え 判断 決定」させる場面の設定
- ・ 方法選択型探求学習「IndiviFLIS」や单元内自由進度学習の実践
- ・ 自由選択型家庭学習「岩小ホームスタディー」の実施
- ・ 基礎学力の定着と思考を深める授業の実践（教科と日常生活との関連性）
- ・ 発達段階に応じた適切な学習指導
- ・ 教育 DX のさらなる推進、AI ドリルの活用、大学との連携

【徳育】

2 心理的安全性を最優先とした人間関係づくり（キャッチフレーズ「i ある岩小」）

岩沼市教育基本方針「たくましさやさしさを培う学校づくり」を推進し、調和とバランスのとれた教育課程の適切な編成と実施に取り組み、開かれた信頼される学校づくりに努め、学校教育目標の具現化を図る。

(1) 異学年交流を基盤とした自己肯定感・自己存在感の醸成

(2) 落ち着きある環境づくり

- ・ 異学年交流活動の教育課程への計画的位置づけ
- ・ 6 学年の姿を最終モデルとした児童像の確立と全児童への意識づけ
- ・ 返事・あいさつ・くつそろえ等、基本的生活習慣—特に身の回りの整理整頓の徹底に取り組む。
- ・ 教師による「居場所づくり」と児童による「絆づくり」の推進を通した、互いに認め、励まし合う学年・学級経営の実現
- ・ 人権教育・福祉教育の推進による、自他を尊重する態度の育成
- ・ ユニバーサルデザインに配慮した、清潔で誰もが学びやすい学習環境の整備
- ・ 校内外の美化・整理整頓を意識した清掃活動等による公共心・公德心の育成

【体育】

3 基本的生活習慣を基盤とした心身の健康づくり

児童理解を深め、道德教育や特別活動、生徒指導、学校教育活動全体を通して、心豊かで心身共に健康な生活ができる力を育成する指導の充実に努める。

(1) 基本的生活習慣の定着と体力づくり

- ・ 早寝、早起き、朝ごはんの推奨と生活リズムの確立
- ・ 個に応じた家庭学習の習慣づくり
- ・ 登下校時や校内外での安全教育、防災教育の日常的な取組
- ・ 体力・運動能力調査の結果を踏まえた体力づくり及び外遊びの推進

(2) 食育の推進

- ・ 食材や食に関わる全ての人々に対する感謝の心を育てる
- ・ 6 学年カレープロジェクトへの取組を通した地域企業との連携による食育

校訓・校是

『 正直 親切 勤勉 』（明治 37 年 1904 年制定）

本校の防災教育の取組

- ・現在の小学生は震災後に生まれた子供たちである。副読本「未来への絆」等を活用した計画的・継続的な防災教育を推し進め、地域施設見学を含め、東日本大震災の厳しい教訓を確実に伝えていく。
- ・総合的な学習等に位置づけ、計画的指導と意図的指導を行うことで、日常的な防災意識の向上を図る。
- ・危機管理マニュアルについて全職員で適宜見直しを行い、より地域の実態に即したものに改訂していく。

＜具体的な取組＞

- ・月 1 回のショート防災訓練と年 2 回（火災・地震）の避難訓練の実施
- ・千年希望の丘見学、救命救急講習（5 年総合的な学習）
- ・荒浜小学校見学、避難所運営体験（6 年総合的な学習）

特色ある教育活動



金管バンド



まなび i 岩小スタイル



大運動会



避難訓練、ショート防災訓練

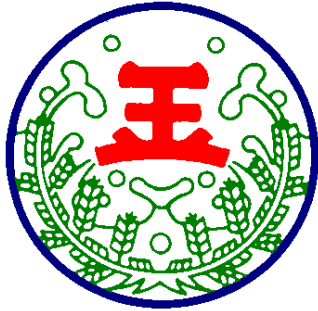


異学年交流会



自校給食

玉浦小学校



郵便番号	989-2424	創 立 日	明治 6 年 6 月
住 所	岩沼市早股字小林 396 番地の 1	開校記念日	5 月 30 日
電話番号	0223-22-2702	校 木	くろまつ・はまぎく
FAX番号	0223-22-2759	校 長	愛澤 航史
メ ー ル	chief2@tamasho.iwanuma-ed.jp	児童数・学級数	児童数：367 人 学級数：15
ホームページ	https://sites.google.com/gs.myswan.ed.jp/tamasho-iwanuma-ed/		

学校教育目標

自ら考え共に学び 豊かな心を持ち 健康でたくましく生きる たまうらの子の育成

目指す児童（生徒）像

（知）自ら考え共に学ぶ子供

- よく聴き、自分の考えを持って交流し、深め合う子供
- 進んで学習に取り組み、最後までしっかりと学ぶ子供

（徳）豊かな心を持った子供

- 思いやりがあり、優しさと責任感のある子供
- あいさつ、返事がしっかりできる子供

（体）健康でたくましく生きる子供

- 元気に遊び、進んで身体を鍛え、目標に向かって粘り強く努力する子供
- 早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身に着け、健康な生活を送る子供

目指す学校像

（1）楽しい学校

- ・一人一人を大切にし、個々の良さを認め、元気に遊び、しっかり学ぶことができる魅力ある学校

（2）共に歩む学校

- ・家庭や地域と連携し、玉浦に根ざした取組を協働で歩む、信頼される学校

（3）安全安心な学校

- ・災害安全・交通安全・生活安全を確保し、清潔感のある、落ち着いた学校

目指す教師像

（1）信頼される教師

- ・心豊かで優しさと厳しさ、使命感を持ち、児童に共感的に接し、平等で確かな児童理解ができる教師

（2）授業で鍛える教師

- ・授業を大切にし、楽しく分かる授業、児童一人一人の持つ力を引き出す授業ができる教師

（3）伸びる教師

- ・広く研修に努め、磨き合いながら、協働、協力し、高め合うことのできる教師

明日も来たくなる学校を目指して

～子供・教職員が主役の楽しい学校～

- 5つの②
- 1 あかるいあいさつたまうらの子（挨拶「花丸あいさつ」、返事、礼儀）
 - 2 あたたかな心のたまうらの子（相手へのおもいやり、あったかことば）
 - 3 あきらめないたまうらの子（チャレンジ精神、失敗から学ぶ）
 - 4 あたりまえを大切にするたまうらの子（凡事徹底）
 - 5 あそび大好きたまうらの子（体を鍛える、コミュニケーション能力）

今年度の経営の方向と重点目標及び具体策

【知育】「自ら考え共に学ぶ子供＜かしこく＞」の育成のために

- （1）「学ぶ楽しさ」「分かった」「できた」を実感させる授業づくり
 - ・ねらい・自力解決・交流・深め合い・振り返りのある授業
 - ・児童一人一人に「主体的・対話的・深い学び」の実現を目指した授業改善
 - ・TT指導、習熟度別指導、教科担任等、様々な学習形態を取り入れた授業
 - ・ICTを活用した授業（提示・交流・調べ・まとめ・習熟等での活用）
- （2）学習規律・学習習慣の確立
 - ・「玉小スタンダード」「家庭学習の手引き」の活用による共通理解行動
- （3）基礎的な学力の定着と活用する力の育成
 - ・基礎的な学力の確実な定着（スキルタイムによる計算力の向上）
 - ・「読む力」「書く力」「話す力」「聴く力」の育成
 - ・学んだことを活用し、自ら考え、表現する場面の設定
（授業をはじめとする全ての教育活動の中で）
 - ・「つなぐタイム」の他教科（算数以外）への発展
- （5）「子供の学びを支援する5つの提言」の実践
 - ・子供の声を受け止め適切な支援をすることで安全・安心に学べる環境をつくる
 - ・子供をほめること、認めることで、やり抜く力を育てる
 - ・子供が様々な学び方を知り、主体的に学習ができるように支援することで、学びに向かう力を育てる
 - ・自分の考えを発表したり交流したりする活動を充実させることで深い学びにつなげる
 - ・家庭学習の質的向上を図るとともに読書の時間を増やす働き掛けをする

【徳育】「豊かな心を持った子供＜やさしく＞」の育成のために

- （1）児童一人一人の自己肯定感の向上を目指した学級作り
 - ・居場所づくりによる心理的安全性の確保
 - ・自己決定の機会の意図的な設定と「やり抜く」ための指導・支援
（朝や帰りの会、係活動、授業の場面、行事等で一人一人が活躍する場面設定）
 - ・友達の立場や思いを考え、思いやりの気持ちを持てる学級の風土づくり
（相手意識の醸成）
 - ・意図的な集団遊びを通した人間関係作り（学級・縦割り活動等）
- （2）あいさつ・返事ができ、礼儀正しい行動がとれる子供の育成
 - ・「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」などの挨拶に加え、「返事」や「お辞儀」等を身に付けるための年間を通した指導

(3) 道徳的実践力を育てる道徳教育の充実

- ・ 考え、議論する道徳の授業づくり
- ・ 他教科や学級活動と関連させ、横断的で全教育活動を通した道徳教育の実践化
- ・ 「花丸あいさつ」「あったか言葉」を広めるための全校道徳の推進

(4) いじめ不登校の未然防止・早期発見・早期対応

- ・ 児童理解、報告・相談・連絡の徹底、ケース会議等の組織的対応
- ・ 定期的なアンケートの実施といじめ問題対策委員会の開催、日常の観察等での早期発見

(5) 地域に根差した教育活動との連携

- ・ 学校運営協議会（コミュニティスクール）における学校支援機能の活用促進
（ふれあいパトロール隊、地域ボランティア、地域の企業、派出所、玉浦コミュニティセンター、玉浦中学校等との連携した教育活動の推進）

【体育】「豊かな心を持った子供＜やさしく＞」の育成のために

(1) 教科体育の充実、朝の活動・業間外遊びの奨励、体育委員会の行事

- ・ 基礎体力、基礎技能の習熟、朝の活動、業間遊びを通して体力の向上を目指す
- ・ 体育委員会等の児童の主体的な活動や強化月間などを有効活用する

(2) 「防災の日常化」を意識し、継続的な防災・安全教育を通した「自分の命は自分で守る」力の定着

- ・ 多様な想定避難訓練による、実際の災害場面に即した実践力の育成
- ・ 避難訓練後の振り返りを重視した PDCA サイクルによる避難行動の質的向上

(3) 目標を設定し、励ましを行い、最後までがんばる気持ちを育てる

- ・ 体力作りの内容で目標を立て、達成に近づけることができるよう励ます
- ・ 運動会、水泳学習、持久走記録会、なわとび運動等での取組で実践させる

(4) 食育の充実

- ・ 望ましい食習慣の定着を目指した家庭・地域との連携、啓発
- ・ 自校給食ならではのよさを生かした学校給食の充実

本校の防災教育の取組

(1) 年間10回の防災訓練

- ・ 様々な想定による避難訓練の実施
（業間時、管理職不在、ブラインド等）

(2) 毎月1回の防災学習

- ・ みやぎ防災教育副読本「未来への絆」の活用

(3) 総合的な学習の時間としての取組

- ・ 3年生 「校舎防災マップ」を作ろう
- ・ 4年生 岩沼の災害の歴史を調べよう
- ・ 5年生 「通学路防災マップ」を作ろう
- ・ 6年生 未来の玉浦を考えよう



玉浦中との合同避難訓練



「玉浦防祭」
※防災学習のまとめ



高知県南国市との交流事業(各校の防災訓練・学習の発表)

(6年総合的な学習のまとめの発表)

特色ある教育活動

○地域人材との連携による活動



ふれあいパトロールの皆さんとの顔合わせ会



さつまいもの苗植え(2年生活科)



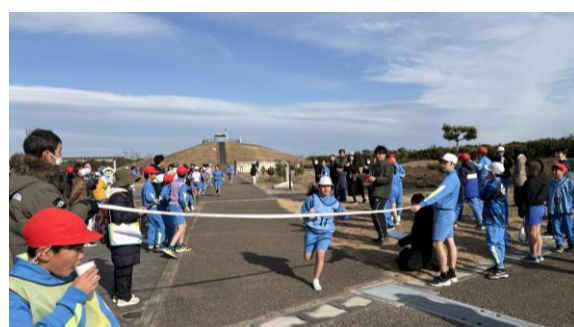
さつまいもの収穫(1・2年生活科)



玉浦白菜の収穫(3年総合)



田植え・稲刈り作業体験(5年総合)



保護者・地域の皆さんによるコース内の見守り・声援
千年希望の丘 駅伝(5・6年生)

岩沼西小学校



郵便番号	989-2456	創立日	昭和52年4月1日
住所	岩沼市松ヶ丘一丁目17番地	開校記念日	5月1日
電話番号	0223-24-3780	校木	くろまつ（昭和56年制定）
FAX番号	0223-24-3790	校長	大沼 史柄
メール	chief3@iwanishisho.iwanuma-ed.jp	児童数・学級数	児童数：831人 学級数：32
ホームページ	https://sites.google.com/gswan.ed.jp/iwanishisho-iwanuma-ed/		

学校教育目標

学ぶ意欲と豊かな心を持ち、心身共に健康でたくましい児童の育成

目指す児童（生徒）像

- （知）進んで学習する児童
- （徳）思いやりのある児童
- （体）体をきたえる児童

目指す学校像

- （1）児童が安心して学べる学校
- （2）地域・保護者と協働する学校
- （3）きれいな学校

目指す教師像

- （1）自ら研鑽に励む教師
- （2）協働する教師
- （3）心身共に健全な教師

学校経営方針

法令、宮城県教育委員会並びに仙台教育事務所、岩沼市教育委員会の方針に基づき、地域社会と児童の実態を踏まえ、学校教育目標を定める。

我々教職員は、教育愛と揺るぎない信念の下、英知を結集し、日々の教育活動の充実に努めていかなければならない。そして、教育は「人づくり」であることを深く認識し、学ぶ意欲に支えられた確かな学力と豊かな心を備え、夢や志を持って時代をたくましく生き抜いていける児童の育成のため、持てる力を十分に発揮し合い、その職責を果たすことが求められている。

これらを踏まえ、校是「真・愛・勇」の精神の下、次の4点から学校経営を進めていく。

- ① 教職員一人一人が教育のプロとしての自覚と責任を持ち、常に自己研鑽に努め、協働して職務に当たる中で、指導力を磨き合う教師集団を創造する。

- ② 丁寧かつ活力ある教育活動を展開する中で、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、児童一人一人の心を育む教育、個性を生かす教育に努める。
- ③ 支持的風土の学級づくりを基盤に、児童一人一人の自己肯定感・自己有用感を高め、多様な人々と協働することができる心豊かな児童の育成に努める。
- ④ 家庭・地域と学校が一丸となって協働教育に取り組み、地域に根ざした教育を推進し、地域に開かれた学校、安全・安心な信頼される学校づくりに努める。

今年度の経営の方向と重点目標及び具体策

保護者や地域との連携を図りながら、学校の基礎・基本とも言える「授業」と「学級づくり」を中核に据えて、確かな学力、豊かな人間性、健やかな体といった知・徳・体の調和のとれた児童の育成に努める。

【知育】

○ 確かな学力の定着と学ぶ意欲の向上

- (1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の具体化
 - アウトプット重視の授業展開による基礎学力の向上
 - 自由進度学習（児童が主体的に学べる多様な学び）の導入
- (2) 学ぶ楽しさを実感できる授業づくりの推進
 - ICT機器の効果的な活用
 - 専科・交換授業等による教師の専門性を生かした指導過程
- (3) 教師の指導力の向上
 - 児童の実態を踏まえ、教師同士が率直に語り合える校内研究
 - 指導と評価の一体化
- (4) 学習規律・学習習慣の確立
 - 「西小スタンダード」、「家庭学習の手引き」の活用による共通理解・共通行動

【徳育】

○ 豊かな心の育成と夢や希望を持たせる活動の充実

- (1) 出番と居場所のある学級づくり
 - 児童の居場所作り
 - 仲間意識を高め、相手の意見を認め合う学級活動
 - 相手を意識した挨拶の励行
- (2) 道徳教育の推進
 - 自ら考え、討議する授業の実践
 - 命の大切さを知り、感謝する気持ちを醸成する活動の設定
- (3) 成就感、自己有用感、志等を高める体験活動の充実
 - 出前授業や体験活動の積極的な設定
 - 生き方を学ぶ機会となる場の設定
- (4) 読書活動の充実
 - 家庭読書の推進
 - 学校図書館の積極的活用
 - 読み聞かせボランティアとの連携

【体育】

○ 健やかな心身と体力づくりの充実

- (1) いじめ・不登校等の未然防止及び早期発見・早期対応
 - 児童理解と報・連・相の徹底
 - 教育相談体制の充実と組織での対応
- (2) 基礎体力と運動技能の向上
 - 教科体育の充実
 - 業間外遊びの奨励
 - 各種運動強化週間の設定
- (3) 安全・健康教育の推進
 - 体験的な活動を重視した指導の工夫
 - 養護教諭・栄養教諭との連携
- (4) 安全な環境づくりと危機管理意識の高揚
 - 安全防災研修の充実
 - 緊張感を持った安全点検（定期・臨時・日常）の実施と迅速な対応

【学校経営全般】

○ 特別支援教育の理解と充実

- (1) 機能する校内支援体制の構築
 - 情報の共有
 - ケース会議の充実
 - 関係機関及びS C、S S W等との連携
- (2) 特別支援教育に関する理解促進
 - 個別支援が必要な児童の理解と対応力の向上
 - 保護者との連携（情報交換と具体的なニーズの把握）
- (3) 障がいやニーズに即した指導法の工夫と支援の充実
 - 児童一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育課程の編成
 - 通常学級における授業のUD化
- (4) 通常学級と特別支援学級との交流の推進
 - 学習内容や指導方法の工夫と共有
 - 組織的・計画的・継続的な実践

○ 信頼され魅力ある学校づくりの推進

- (1) 家庭、地域との双方向の情報交換
 - 広報活動（各種たより発行、ホームページの更新、メール配信等）の充実
 - 個人面談や懇談会等の充実
- (2) 落ち着きと潤いのある環境整備
 - 無言清掃の徹底
 - 校舎内・外の整理整頓
 - 季節感をもたせた感動のある掲示
- (3) 学校評価の充実と学校経営への反映
 - 三者（教職員・保護者・児童）を対象としたアンケートの実施・分析
 - 学校評議員会・関係者評価委員会の実施
- (4) 家庭、地域と連携した教育活動の推進
 - 保護者や地域住民の声を反映させた教育活動の実施
 - 学校支援ボランティア「西っ子応援団」の積極的な活用

○ 本校の防災教育の取組

(1) 防災管理

- 防災マニュアル、避難所マニュアルの作成及び定期的な見直し
- 施設や設備の月1回の安全点検と児童の視点による安全点検

(2) 防災教育

- 教育活動全体を通じた防災教育の推進
- 多様な災害を想定した避難訓練
- 災害発生時に活用できる能力の習得

(3) 組織活動

- 家庭や地域及び関係機関との連携
- 非常時を想定した保護者への引き渡し訓練
- 非常時における教職員の役割の明確化

校訓・校是

- 「真」 まじめでいつわりのないこと
- 「愛」 やさしく思いやりがあること
- 「勇」 正しいことを行う勇気があること

特色ある教育活動



西っ子体育祭



引き渡し訓練



名取高校「きれいにし隊」による掃除指導



3校合同あいさつ運動



花いっぱい運動



百人一首教室

岩沼南小学校



郵便番号	989-2445	創立日	昭和 54 年 4 月 1 日
住 所	岩沼市桑原四丁目 4 番 1 号	開校記念日	5 月 30 日
電話番号	0223-24-4115	校 木	いちよう
FAX番号	0223-24-4126	校 長	若山 聖子
メー ル	chief4@iwaminamisho.iwanuma-ed.jp	児童数・学級数	児童数：459 人 学級数：21
ホームページ	https://sites.google.com/gswan.ed.jp/iwaminamisho-iwanuma-ed/		

学校教育目標

「自ら学び ともに育つ」 ～自律を力に、協働を翼に～

目指す児童像

- | | |
|---------------|--------------------|
| (知) 進んで学ぶ児童 | ・・・仲間と協働して探究し続ける児童 |
| (徳) 思いやりのある児童 | ・・・想像力を持って行動する児童 |
| (体) たくましい児童 | ・・・自立して粘り強く取り組む児童 |

目指す学校像

- ◆児童が主体となって学ぶ学校
- ◆一人一人が大切にされ、居心地のよい学校
- ◆皆から信頼され、家庭・地域とともにある学校
- ◆児童の命を守る「安全・安心」な学校

目指す教師像

- ◆目標に向かって創意工夫し、協働しながら高め合う教職員
- ◆児童の心に寄り添い、児童主体の学びを追求する教職員
- ◆よさを認める温かさ高い志を求める厳しさを併せ持つ教職員
- ◆保護者や地域との信頼関係を築く教職員

校訓・校是

むつまじく たくましく ほがらかに

学校経営方針

人権尊重を基盤とした安全・安心な教育環境と働きやすい職場環境の下、地域と連携・協働しながら、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開し、自分事として問題に向き合い解決に向けて思考し続ける児童を育成する。

今年度の経営の方向と重点目標及び具体策

1 学び続ける児童の育成 【知育】

(1) 「主体的・対話的で深い学び」を通じた学力の保証

- ・ 教師が一方的に「教える」授業から、児童が課題解決に向けて「見通し・実行・振り返り」を繰り返すために、必要なリソース(教員、友だち、端末)を自ら活用できるよう「伴走する」授業への改善を徹底する。
- ・ 論理的思考力や表現力を養うため、全教科を通じ「読む・書く・話す・聞く」活動を意図的に配置し、対話を通じて考えを深める言語環境を構築する。

(2) ICT・クラウド活用による学びの転換

- ・児童が自らの進度や学習方法を選択し、最適に学びを進める力を養うため、リーディング DX を推進する。
- ・プレゼンテーション力の定着:情報を収集・編集し、相手に効果的に伝える情報活用能力を全学年で段階的に育成する。

(3) 自律的な学習習慣の形成

- ・児童が自ら学ぶ力を育てるため、家庭学習において従来の宿題に加え、自ら課題を見付ける「選択学習」や「自律学習」を発達段階に応じて推進する。

(4) 協働的な校内研修と指導力の向上

- ・個人の課題を組織全体で共有し、チームで授業を創り上げるプロセスを通じて教員間の同僚性を深化させたため、事前の教材研究や模擬授業において「児童がどう学ぶか」を同僚と共に徹底して検討する。
- ・教員自身が「学び続ける存在」として学校教育目標の体现を目指すため、授業後の検討会では、単なる改善点の指摘ではなく、児童の具体的な事実に基づき、設定した課題がどう解決されたかを見取るとともに、次の実践に即座に生かせる知見を共有する。
- ・組織としての指導力を高めるために、OJT 研修や初任者研修を充実させ、教員間の学び合いを活性化化する。

(5) 豊かな感性と知的好奇心を育む読書活動

- ・読書タイムの実施により集中力を高め、読解力の基礎を養う。
- ・読み聞かせボランティアとの協働により、児童の視野を広げる。
- ・「一人 100 冊運動」を推進し、多様なジャンルの本に親しむ場を創出する。

(6) 「分かる授業」を実現する指導体制の導入

- ・一人の教員が担当する教科を絞ることで、これまで以上に深い教材研究を可能とし、児童の主体的な学びを支える質の高い授業の提供につなげる。
- ・一人の担任だけが子供を見るのではなく、学年の複数の教員が関わることで、子供の「小さな変化」や「隠れた良さ」を見逃さない体制を構築する。

2 豊かな心の育成 【徳育】

(1) 心理的安全性の高い学級・学年経営

- ・ペア・グループ学習、係活動、学級遊びを基盤に、全ての児童が役割と居場所を持つ学級経営を行う。
- ・QU 調査の結果を分析し、個々の満足度や集団の状況に合わせた具体的な「仕掛け」を講じる。
- ・異学年交流や縦割り活動等を通じ、自分とは異なる立場や考えを持つ他者を尊重し、協働する経験を積ませる。

(2) 自己肯定感・自己有用感の組織的な醸成

- ・一人一人の良さや特技が発揮される場を授業や行事の中に計画的に組み込む。成功体験を積み重ね、「自分は役に立っている」という有用感を育てる。
- ・互いの良さを言語化して伝え合う活動を日常的に行い、心理的安全性の高い集団づくりに努める。

(3) 組織的・予防的な生徒指導と教育相談

- ・いじめ・問題行動の事案に対し、校内組織が緊密に連携し、初動から事後指導まで迅速に対応する。また、必要に応じて関係機関との連携も積極的に行う。
- ・毎月実施する生活アンケートに、「もし相談するならどの先生に話したいか」という項目を設け、担任以外の教職員(専科、養護教諭、過去の担任、教頭など)も相談役として推奨することで、相談先を固定しない「マルチ・ゲートウェイ(多窓口)化」を図る。
- ・全ての教育活動の基盤に「存在感・共感・自己決定」を据え、児童が「自分は認められている」「自分で選択している」と実感できる場を意図的に創出することで、児童の自律性を重んじた積極的な生徒指導を展開する。

(4) 特別支援教育と「共生」の推進

- ・一人一人の特性に応じた個別指導計画・支援計画を作成し、指導法や環境を最適化するとともに、

関わる全ての教職員でその内容を共有する。

- ・ 特性を「個性のひとつ」として互いに認め合い、助け合う「共生」の意識を全児童に育む。
- ・ 特別支援学級と交流学級の児童との交流学习におけるねらいを明確にし、対等な関係性の中で多様な個性に触れる機会を創出する。

(5) 多角的に考える道德教育

- ・ 正解のない問いに対し自らの価値観を問い直し、他者と対話する「考え、議論する授業」を行う。
- ・ 自分とは異なる背景や感覚を持つ他者の立場を想像し、共感的に理解しようとする姿勢を養う。

(6) 未来をデザインする志教育(キャリア教育)

- ・ 地域や外部人材と連携し、多様な生き方に触れる機会を創出する。自らの将来を「自分事」として考える契機を作る。
- ・ キャリアパスポートを活用し、自身の成長を記録し振り返ることで、過去・現在・未来をつなげ、自己変容を自覚させるツールとして効果的に運用する。

3 健やかな体の育成 【体育】

(1) 自己の成長を実感する体育科の授業

- ・ 5分間走や5分間鬼ごっこ等を継続し、運動量を確実に確保する。併せて、ICT(動画撮影等)を活用し、自分の動きを客観的に捉え、改善を図る「自己調整学習」を推進する。
- ・ 児童の運動意欲を高める教材・教具・場の設定を工夫する。教員からの一方的な提示だけでなく、児童が課題に応じて場を構成する工夫を取り入れる。
- ・ 体力向上に向けた計画や行事を、児童主体の委員会活動を通じて実践し、集団の中での役割意識とリーダーシップを醸成する。

(2) 主体性と創造性を育む環境づくり

- ・ 業間、昼休みの活用を促し、日常的に体を動かす習慣を定着させる。
- ・ ドッジボールコート、なわとび台、固定遊具を組み合わせたサーキットコース(短距離走・坂登り・タイヤ跳び・雲梯)、竹馬、一輪車等を整備し、児童が自ら「挑戦したい」と思える魅力的な遊び場を構築する。

(3) 自らの健康をマネジメントする力の育成

- ・ 保健教育を推進し、感染症予防の徹底を図る。知識の習得に留まらず、自らの体調を管理する「セルフケア」の意識を育てる。
- ・ 生涯にわたる健康意識の醸成:全国小学生歯磨き大会への参加等を通じ、歯の健康啓発を推進する。

(4) 食育の充実と生活リズムの確立:「はやね・はやおき・あさごはん」の徹底

- ・ 家庭と連携し、基本的生活習慣の確立を目指す。チェックシートの活用等により、児童が自らの生活リズムを振り返り、改善する機会を設ける。
- ・ 栄養士と連携した指導を充実させ、食への関心を高める。アレルギー調査に基づく厳格な事故防止策を講じ、多様性への理解を深める。

(5) 安全教育の充実

- ・ 交通安全、生活安全、災害安全の指導を徹底する。定期・臨時・日常の安全点検を確実に実施し、物理的な安全性と児童の安全意識をともに高める。

4 地域とともにある学校づくりの推進

(1) 「開かれた学校」の深化

- ・ 授業参観や個人面談等の公開行事を着実に実施し、学校の教育方針への理解を深める。併せて「学校支援ボランティア」の登録を促し、保護者や地域住民が日常的に教育活動をサポートできる環境を整える。
- ・ 保護者評価や地域住民による外部評価を適切に実施・分析し、その結果と改善策を公表することで、学校運営の透明性と信頼性を高める。

(2) 地域の力を生かす体験学習

- ・ 地域の伝統、産業、自然を教材化し、地域人材や外部講師を積極的に招いた「本物に触れる体験」を各教科・総合的な学習の時間に位置付ける。
- ・ 児童が地域から学ぶだけでなく、清掃活動やボランティア活動、行事への参加を通じて「自分たち

は地域の一員である」という意識と郷土愛を育む。

(3) デジタル技術を活用した機動的な情報発信

- ・ 学校 HP、メール配信等を多角的に活用し、子供たちの活動や学校の取組をタイムリーかつ視覚的に発信し、家庭・地域との共有感を高める。
- ・ 児童・保護者アンケートの分析結果を速やかにフィードバックし、学校の課題を共有することで、家庭・地域と一体となった改善活動を推進する。

(4) 社会総がかりで子供を育てるネットワークの構築

- ・ 幼・小・中の相互の授業参観や教員間の情報交換、児童生徒の交流を深化させ、子供の成長を長期的な視点で支える一貫性のある指導体制を構築する。
- ・ 児童館、福祉・保健機関、警察等の専門機関と日常的な連絡体制を形成し、虐待や問題行動などの困難事案に対し、発生直後から組織的な対応を講じる。

(5) 地域で守る「安全・安心」な教育環境の整備

- ・ ふれあいパトロール隊や PTA、関係団体との連携を密にし、デジタル配信の活用により、防犯・事故防止に関する情報の即時共有を行う。
- ・ 通学路点検や街頭指導を保護者・地域住民と協働で実施し、物理的な環境改善と、児童自身の危険回避能力の向上を両立させる。

5 本校の防災教育の取組

- ・ 毎月 11 日を「防災の日」とし、東日本大震災の教訓を風化させないための学習に取り組む。
- ・ 想定外を想定した多様な避難訓練(時間外、場所指定なし等)を実施し、自らの命を守るための「状況判断力」を育成する。
- ・ 各教科・領域の学習と関連付けながら、災害・防災に関する正しい知識を習得させる。

特色ある教育活動

(1) 教育課程柔軟化サキドリ研究校の取組

令和 8 年度、9 年度の 2 年間、本校は文部科学省から「教育課程柔軟化サキドリ研究校」に指定されている。次期学習指導要領の実施に向けて、柔軟な教育課程の編成を促進するために先行的な取組を行うものである。具体的には一単位時間を 40 分で編成し、生み出した余剰分を、児童一人一人の個別最適な学習を推進する時間に充てたり、質の高い授業を効果的に実施するための教職員の研修時間等に充てたりすることで、総合的に児童の生きる力を高めていくことを目指している。



①「チャレンジタイム」の創設

子供一人一人に応じた学習に取り組む時間を設定している。

②教職員の研修時間の設定

原則として毎週月曜日の児童下校後、教職員の研修時間としている。次期学習指導要領で目指す学力、子供の学びのあり方、教師の支援の仕方等、さまざまな切り口から教員の資質向上を図り、授業の充実に生かしていく。



(2) 自立した学習者の育成のための教育活動

①マイスタ（自立した家庭学習）の定着

日々の家庭学習を、自分で計画し、実践し、評価しフィードバックする流れを定着させることで、自立した学習者としての基礎を築く。

②個人のテーマを追求する総合的な学習の時間

今年度から、4 年生以上の総合のほとんどの時間で、個人テーマを設定して追究を行う。テーマ設定、追究の計画立案、方法の吟味、調査活動、考察、まとめ、発表の一連の流れの中で、自立した学習者としての資質の育成を図っている。



岩沼中学校



郵便番号	989-2445	創 立 日	昭和 22 年 4 月
住 所	岩沼市桑原四丁目 8 番 1 号	開校記念日	4 月 19 日
電話番号	0223-22-2814	校 木	黒松
FAX番号	0223-22-2995	校 長	池田 尚人
メ ー ル	chief5@iwachu.iwanuma-ed.jp	生徒数・学級数	生徒数：337 人 学級数：13
ホームページ	https://sites.google.com/gs.myswan.ed.jp/iwachu-iwanuma-ed/		

学校教育目標

『友愛の精神を身に付け 自立した生き方のできる生徒の育成』

目指す生徒像

- 【知】自ら学び・考え、新たな価値を創造する生徒
- 【徳】他を尊重し、調和と責任ある行動ができる生徒
- 【体】心身ともに健康で、挑戦し続ける生徒

目指す学校像

「多様性を尊重し、生徒の可能性を引き出す、地域に開かれた学校」
～ つながりとかかわりを大切にした学校づくり ～

目指す教師像

- (1) 自立した学習者を育て、分かりやすい授業づくりへの転換を図る教師
- (2) 愛情をもって接し、自己決定と他者との協働により豊かな人間性を養う教師
- (3) 多様な見方・考え方を理解し、人権感覚を大切にした心の教育の充実に努める教師
- (4) 落ち着き整った学習環境づくりに努める教師

学校経営方針

目指す学校像を「多様性を尊重し、生徒の可能性を引き出す、地域に開かれた学校」とし、つながりとかかわりを大切にした学校づくりに努める。

今年度の経営の方向と重点目標及び具体策

【知育】 自立した学習者を育て、分かりやすい授業づくりへの転換を図る

- (1) デジタル基盤を前提とし I C T機器を効果的に活用した、対話的で思考を深める指導の工夫
- (2) 「個別最適な学び」「協働的な学び」を意識した授業づくり
- (3) A Iドリルや「岩中学び塾」等を活用した個に対応した学習の充実
- (4) 全教職員による、一人一授業公開の実践と校内研究の充実

【徳育】 多様な見方・考え方を理解し、人権感覚を大切にしたい心の教育の充実に努める

- (1) 道徳の授業の充実による道徳的实践力の醸成
- (2) 自然体験学習や社会体験学習と関連した道徳教育の推進
- (3) 外部講師を招き、多様な見方や考え方に触れる人権教育の充実
- (4) 学校図書館や授業と連携した読書活動の充実

【体育】 目標を明確にして活動に取り組み、個に応じた体力・運動能力向上に努める

- (1) 活動の基盤となる、仲間とともに体を動かすことの楽しさや、主体的に運動に親しむ意識の高揚を目指したスポーツ大会や部活動の充実
- (2) 授業の導入部で「1分間往復走」「体づくり運動」を設定した授業、スポーツテストに個人目標を定めて臨む、体力・運動能力の向上を目指した取組の推進
- (3) 毎日の給食指導を通して食材や調理の仕方等を紹介する等、栄養士を中心とした食育の推進

校訓・校是

友愛…自分を大切にし、他者を尊重する

自立…自律(自ら判断し責任ある行動)と創造(知恵を出し合い新しい価値を生み出す)

本校の防災教育の取組

- (1) 1学年において松島自然体験宿泊学習を行い、自然と触れ合う中で災害や防災について考えるきっかけとする。(自助)
- (2) 2学年において救急救命講習を行い、実際に心肺蘇生法の実践力を高め、助け合いの精神を育む。(共助)
- (3) 避難訓練(水害、地震、火災、不審者、他)を、1学期に具体的な想定のもとで実施する。2学期は、生徒・教員に事前周知しない抜き打ち訓練を実施して、より実践的な対応力を養う。
- (4) 日常の安全点検を、教員だけでなく生徒会環境整美委員会が主体となって実施することにより、生徒の視点から校舎内外の安全を共有する。(令和8年度から)

特色ある教育活動



松島防災宿泊学習（１年生）



農業体験宿泊学習（２年生）



国際理解講話（講師）



救急救命講習（２年生）



スポーツ大会



岩中祭（文化祭）



玉浦中学校



郵便番号	989-2429	創 立 日	昭和 22 年 4 月 18 日
住 所	岩沼市恵み野二丁目 4 番地の 1	開校記念日	4 月 18 日
電話番号	0223-22-2704	校 木	くろまつ・はまなす
FAX番号	0223-22-2905	校 長	佐藤 和夫
メ ー ル	chief6@tamachu.iwanuma-ed.jp	生徒数・学級数	生徒数：199 学級数：8
ホームページ	https://sites.google.com/gs.myswan.ed.jp/tamachu-iwanuma-ed/		

学校教育目標

心身ともに健康で、知・徳・体の調和の取れた、心豊かにたくましく生きる生徒の育成

目指す児童（生徒）像 ～ 知・徳・体の調和 ～

（知）ねらいを持って学習する生徒

- 課題を持って、主体的に学習に取り組むことができる。
- 自ら考え、多様な他者と協働し、対話を通して思考を深めることができる。
- 自分の生き方を考え、目的意識をもって粘り強く学習に取り組むことができる。

（徳）思いやりを持つ子生徒

- 自他の個性を尊重し、相手の気持ちや立場に立った行動ができる。
- 自ら正しく判断し、よりよい社会の形成者として責任ある行動ができる。
- 自然や郷土を愛し、美しいものに感動することができる。

（体）心身を鍛える生徒

- 失敗を恐れず、目標に向かって粘り強くやり抜くことができる。
- 自ら進んで運動に親しみ、心身ともに健康でたくましい体づくりに努めることができる。
- 進んで奉仕活動や労働に取り組み、働くことの尊さや喜びを実感することができる。

目指す学校像

（１）あいさつの飛び交う学校

- ①自ら進んで、あいさつをすることができる。
- ②誰に対しても、分け隔てなくあいさつをすることができる。
- ③あいさつの大切さを実感し、自分から進んで多くの人と心を通わせることができる。

（２）きれいな学校

- ①自ら進んで、清掃活動に取り組むことができる。
- ②自ら気付き、進んでゴミを拾うことができる。
- ③きれいな学校を誇りに思い、周囲の人に自信を持って自慢できる。

(3) 感動と笑顔があふれる学校

- ①皆と協力し合い、一生懸命に毎日の学校生活や行事に取り組むことができる。
- ②集団で成し遂げることの一体感に感動し、達成感や楽しさを感じ取ることができる。
- ③集団の中で、自己有用感を感じ取ることができる。

目指す教師像

- (1) 常に自らを高め、生徒の可能性を最大限に引き出す教師
- (2) 和を重んじ、同じ目標に向かって、それぞれの個性を生かし全力で挑戦する教師
- (3) 師弟同行の精神のもと、生徒に寄り添い、ともに理想の学校を創り上げる教師

学校経営方針

- (1) 全職員の協働による創造的な学校経営
- (2) 生きる力を育む学校経営
- (3) 生徒指導の機能を生かした学校経営
- (4) 地域に根ざした学校経営

今年度の経営の方向と重点目標及び具体策

【知育】 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用する力を培う。

- (1) 見通しと振り返りの徹底：学習の道筋とねらいを明確にし、適応問題や振り返りを時間内で行うことで、学びの実感と次への学習意欲を高める。
- (2) 対話のある授業づくり：発問の工夫と ICT の日常的な活用により、生徒の思考を揺さぶり、学習形態を工夫しながら多様な他者との対話が生まれる授業を展開する。対話的な協働的学習を通して、一人ひとりの考えを深め、互いに高め合う学びを推進する。
- (3) 主体的な学習態度の育成：単元や題材のまとまりの中で見通しを持たせ、適切な振り返りの場面を設定することで、自ら学びを調整する態度を養う。

【徳育】 自他のよさに気付き、認め合う心を育てる。

- (1) 自己有用感の醸成：生徒会・行事・部活動等の全ての活動を通じ、役割を果たす経験を積ませることで、自他の良さを認め合い、自己肯定感を高める。
- (2) 未然防止と早期対応：発達支持的な視点による日常的な観察・声掛けを徹底し、全職員の協働体制でいじめ・不登校の未然防止と早期解決に努める。
- (3) 人間関係形成能力の育成：多様な意見の違いを建設的に調整し、折り合いをつけながらより良い合意を形成するコミュニケーション能力を育てる。

【体育】 健康で安全・安心な生活を実現するための実践力を養う。

- (1) 防災・貢献の心：防災教育を柱に「自分の命は自分で守る」意識を徹底するとともに、地域の一員として安全に貢献しようとする態度を育てる。
- (2) 危機管理能力の向上：日常に潜む危険を予測・回避する判断力と、安全・安心な社会づくりに主体的に参画する行動力を身に付けさせる。
- (3) 授業や部活動を通じ、生涯にわたって運動に親しむ基礎をつくるとともに、たくましい体力と健康な心（しなやかさ）を養う。

特色ある教育活動

(1) 充実した防災教育

生徒に様々な種類の防災訓練に取り組ませ、災害の種類に応じた避難方法等を学ばせている。また、防災対応マニュアルを学校評議員と共有するなどして、地域住民や関係機関と協力し、より実践的な防災体制を構築している。

(2) 生徒主体による学校行事

学校行事等で生徒が自ら考え、行動できるような機会を創出し、生徒の主体性・創造性を育てる取組を継続している。

(3) 地域連携・地域人材活用

令和7年度末に玉浦小学校と合同で玉浦地区コミュニティ・スクールを立ち上げ、学校・地域・家庭による連携・協働を推進している。また、地域の関係機関や有識者と連携し、地域の祭り等に生徒がボランティアとして参加したり、地域の方々から直接学んだりすることで、生徒の地域づくりの意識を醸成している。

本校の防災教育の取組

(1) 東日本大震災の記憶を風化させないための取組

東日本大震災の記憶を風化させず、次の世代へと語り継ぐため、年度始めに「ともに」の集会を実施している。集会では、震災当時の状況や命の尊さについて深く考えるとともに、玉浦中で脈々と受け継がれている「恩送り（いただいた恩を、次の誰かへとつないでいくこと）」の精神を共有している。過去の教訓を胸に、他者を思いやり、社会に貢献できる豊かな心を育むことを目指している。

(2) 各種災害を想定した避難訓練の実施

地震・火災・津波等の発生に備え、多様な場面を想定した避難訓練を展開している。徒歩による水平避難や引き渡し訓練、予告なしで実施するショート避難訓練のほか、移動中の余震発生や校舎損壊など、より実践的な状況設定を行うことで、危機管理能力の向上を図っている。

(3) 保・小・中連携による避難訓練の実施

東保育所・玉浦小と合同で玉浦中学校の校舎を使った垂直避難訓練を実施している。また、小学校と合同で地区生徒会を行い、生徒が主体となって危険箇所等の共有を図っている。

(4) その他

総合的な学習の時間において、各学年ごとに「自分の命を守るには」「他と協力するには」「地域に貢献するには」のテーマのもと、防災宿泊学習、ゲストティーチャーによる講話、避難所設営訓練、防災啓発活動等の防災学習に全校生徒で取り組んでいる。



「ともに」の集会



避難所設営体験



防災宿泊学習（ランタン作り）



音楽鑑賞会（ジャズ演奏）



音楽鑑賞会



制服着こなし教室



運動会



修学旅行販売体験



2 学年職場体験学習



校内合唱コンクール



芸術祭（総合学習発表）



芸術祭（有志発表）



南国市との交流



救急救命講習



バイキング給食

岩沼北中学校



郵便番号	989-2431	創 立 日	昭和 37 年 4 月 1 日
住 所	岩沼市相の原二丁目 3 番 1 号	開校記念日	5 月 6 日
電話番号	0223-22-2874	校 木	いちよう
FAX番号	0223-22-2997	校 長	堀内 恵理子
メ ー ル	chief7@iwakitachu.iwanuma-ed.jp	生徒数・学級数	生徒数：186 人 学級数：9
ホームページ	https://sites.google.com/gswan.ed.jp/iwakitachu-iwanuma-ed		

学校教育目標

心豊かに たくましく 主体的に生きる人間の育成

目指す生徒像

- 「磨きあい、高め合う生徒」
- (知) 自ら学び進んで実践する生徒【自主】
 - (徳) 思いやりのある生徒【親愛】
 - 社会に貢献できる生徒【奉仕】
 - (体) 心身ともに健康な生徒【健康】

目指す学校像

- 「花が咲き、笑顔があふれ、歌声が流れる学校」
- (1) 学ぶ意欲にあふれ活気のある学校
 - (2) 安全できれいな学校
 - (3) 挨拶の声があふれる温かな学校
 - (4) 保護者、地域と信頼で結ばれた学校

目指す教師像

- 「生徒とともに歩み、心を耕す教師」
- (1) 生徒一人ひとりの学びを最大限に引き出し、主体的な学びを支援する教師
 - (2) 職責を自覚し、誠実・公正に職務を遂行する教師
 - (3) 学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、生涯を通じて学び続ける教師

学校経営方針

教育公務員としての職責を自覚し、心理的安全性と同僚性を高めながら、協力して教育目標の実現に努める。

- (1) 校務分掌や会議の工夫により、全職員が参画する協働的な組織運営を図り、教育活動の質的向上を図る。
- (2) ICT 等を活用し、校務を徹底的に効率化することで、生徒と向き合う時間を確保し、生徒に寄り添いながら心の教育を充実させる。
- (3) 校内研究を基盤に主体的・対話的で深い学びを支援し、生徒の学ぶ力の向上を図る。
- (4) PTA や同窓会、地域との積極的な連携を図り、信頼関係を築きながら保護者や地域と一体となった学校づくりを推進する。

今年度の経営の方向と重点目標及び具体策

【知育】

「自ら学び進んで実践する生徒を育成するために」

- (1) 生徒が自立した学習者として、自らにあった学習の進め方を考えられるようにする支援の工夫【個別最適な学び】
- (2) 自分の考えを発表したり、交流したりすることで、異なる考え方を組み合わせ、生徒の主体的な学びを豊かにする工夫【協働的な学び】
- (3) 生徒自身が ICT を「文房具」として活用できる環境を整え、生徒の情報活用能力を伸ばす工夫【ICT の積極的活用】
- (4) 主体的に取り組みたくなる課題の設定や、ICT の効果的な活用により、家庭学習を質的に向上させる工夫【家庭学習の充実】
- (5) 生徒が読書に親しむ機会をつくり、生徒に読書習慣を身に付けさせる工夫

【読書活動の推進】

【徳育】

「思いやりのある生徒を育成するために」

- (1) 花が咲き、互いに挨拶であふれる環境づくりの推進
- (2) 不登校支援及びいじめの未然防止の取組の推進
- (3) よりよく生きるための基盤となる道徳性の涵養
- (4) 特別活動の充実による自信の醸成と自己有用感の高揚
- (5) 特別支援教育の理解と福祉教育活動の充実

「社会に貢献できる生徒を育成するために」

- (1) 志教育の推進と進路指導の充実
- (2) アルカス活動やボランティア活動の推進
- (3) 保護者・地域の信頼に応える開かれた学校づくりの推進と地域と関わる活動の充実

【体育】

「心身ともに健康な生徒を育成するために」

- (1) 共通理解、共通行動による組織的な生徒指導の推進
- (2) 学級づくりを通じた良好な人間関係の醸成と教育相談体制の充実
- (3) 自ら危険を予測し、回避する力の育成を図る防災教育の推進
- (4) 望ましい生活習慣の育成と食育の推進
- (5) 疾病・感染症の予防及び保健教育の充実

校訓・校是

「自主」 「親愛」 「健康」 「奉仕」

本校の防災教育の取組

地域の災害特性を踏まえた防災教育を推進し、地震・津波・風水害・火災などさまざまな災害に対応できる力の育成を目指している。避難訓練や引き渡し訓練、安全学習等を通して、自ら考え判断して行動する力を養うとともに、家庭・地域・関係機関との連携を重視し取組を推進している。

- 地震や火災等を想定した避難訓練の実施
- 学区の小学校と同日に設定した引き渡し訓練
- 集団下校訓練及び地区生徒会による通学路の危険箇所の確認
- 関係機関と連携した安全教室（交通安全、インターネットトラブル防止等）の実施
- 中学2年生を対象にした救急救命講習の受講
- 震災の教訓を未来に繋ぐ取組（千年希望の丘防災学習、震災講話等）の継続

特色ある教育活動

【自立した学習者の育成に向けた授業の工夫】



【読書活動の推進（朝読書）】



【全校生徒による奉仕作業】



【生徒会による新入生を迎える会】



【学級の絆を深める合唱コンクール】



【主体性と団結力を育む体育祭】



【命を守る交通安全教室】



【2年職場体験】



【地域人材を活用した授業】



【千年希望の丘防災学習】



【1年松島野外活動】



【3年修学旅行】



【1年福祉学習・認知症サポーター養成講座】



【北中アルカス隊の活動】



岩沼西中学校



郵便番号	989-2464	創立日	昭和 61 年 4 月 1 日
住 所	岩沼市三色吉字竹 11 番地	開校記念日	1 月 31 日
電話番号	0223-24-3155	校 木	けやき（昭和 61 年制定）
FAX番号	0223-24-3156	校 長	伊藤 由啓
メー ル	chief8@iwanishichu.iwanuma-ed.jp	生徒数・学級数	生徒数：472 人 学級数：16
ホームページ	https://sites.google.com/gs.myswan.ed.jp/iwanishichu-iwanuma-ed/		

学校教育目標

自ら学び 心豊かに たくましく生きる生徒の育成

目指す児童（生徒）像

（知）主体的に学習に取り組む生徒

- ・夢と志を持ち、自己実現に向かって自ら学ぼうとする生徒
- ・自分の考えを持ち、考え合って自律的に主体的に学ぶ生徒
- ・自分の考えを賢い声と方法で他者に分かりやすく伝えようとする生徒

（徳）思いやりを持ち協力する生徒

- ・多様な他者と対話し、考え合い、協働する生徒
- ・体験活動や本物に触れ、感動する心を持つことができる生徒
- ・元気でさわやかな挨拶を自分から行う生徒

（体）心身の健康を保持できる生徒

- ・人権意識を大切にし、自他を認めることのできる生徒
- ・困難な場面で、よりよい解決方法を選択し、粘り強く努力し続け取り組み続け、自立の道をたどることのできる生徒
- ・自分の命を自分で守る意識や地域の安全に貢献しようとする心を持つ生徒

目指す学校像

「歌があり 花があり 絵がある 子どもたちの笑顔があふれる学校」

- （１）生徒が生き生きと輝く、活力ある学校
- （２）教育環境の整った感性豊かな学校
- （３）保護者や地域と連携し、信頼される学校

目指す教師像

「生徒と共に成長する教師」

- (1) 豊かな人間性を持ち、生徒の力を引き出せる教師
- (2) 授業力や指導力の向上に努め、学び続ける教師
- (3) 心身ともに健康で、信頼される教師

学校経営方針

岩沼市教育基本方針のもと、公教育の精神に則り、教育公務員としての使命感と実践的指導力の涵養に努め、地域・生徒の実態に即して、全職員の協働により創意と活力に満ちた学校づくりをめざし、本校教育目標の具現化を図る。

今年度の経営の方向と重点目標及び具体策

【知育】

- (1) 活力ある充実した教育活動を展開する教育課程編成の工夫
 - ・行事等に関する評価・反省を適切(PDCA サイクル)に行い、柔軟な発想と工夫に満ちた教育活動を展開する。
 - ・縦断的・横断的な計画のもと、体験的活動を重視した総合的な学習の時間の充実を図り、学習内容を自分の生活や身近な社会と結び付け理解させる。
 - ・ICT 担当部を中心に校務や教育活動への利活用をさらに推進させ、効率的かつ効果的な教育活動を展開する。
- (2) 生徒主体の授業実践、学力の向上・指導力の向上
 - ・個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図り、生徒主体の授業（自己調整学習）づくりを行う。
 - ・授業改善の取組の蓄積と共有を行い、協働体制での校内研究を進める。
 - ・学習相談や個別支援の充実の下、個に応じた指導の実践に努める。

【徳育】

- (1) 発達支持的生徒指導の推進
 - ・志教育の3視点を生かした教育実践を通し、集団における自己の役割やより良い生き方を主体的に求める態度を育成する。また、総合的な学習で職業についての学習や進路学習を充実させ主体的に将来の生き方を考えさせる。
 - ・生徒一人一人の可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えるための望ましい支援の仕方を追求する。
 - ・学び支援教室・SC・SSW・あいる一む等の関係機関と連携しながら生徒の居場所づくりの充実を図る。
 - ・自分の抱えている課題は何か、どうしたいのか、どんな支援を必要としているかを問いながら、考えさせ、自己決定を促す指導・支援の充実を図る。
 - ・いじめ・不登校の未然防止のための支援体制、教育相談の充実といじめ問題に対する組織的対応を行う。
- (2) 主体性、自主性を高める生徒会行事・委員会活動の充実
 - ・生徒会活動の活性化を図り、自主的・自発的な活動を促しながら所属感を与え帰属意識を高める指導を充実する。
 - ・生徒が主体的に考え、判断・決定・活動し、かつ達成感を味わうことができるように、「支援」「支持」の共通認識のもと、意図的な場の設定を行う。
 - ・生徒指導3機能を意識した学級経営を通して、生徒同士、生徒と教師の絆づくりを図る。

【体育】

(1) 環境・美化の整備と安心・安全な学校生活の保障

- ・安全で快適な学校生活を送ることができるよう、環境整備及び施設管理に努め、清潔で安全な学校づくりを目指す。
- ・心身共に健康で安全な生活を送ることができるように、自ら望ましい生活習慣を形成しようとする態度を育む。
- ・防災や安全に対する意識向上のため、体験活動を重視した体系的な防災教育及び安全教育を実施する。

特色ある教育活動

(1) 体験活動を重視した集団・宿泊的行事

1年：震災遺構見学 2年：仙台自主研修 3年：修学旅行の班別自主研修

(2) 地域連携と志教育との関連を図った行事

「小中高連携あいさつ運動」

(3) 生徒の企画運営による体育祭や合唱コンクール、新入生を迎える会等の実施



体 育 祭



新入生を迎える会



合唱コンクール



小中高連携あいさつ運動

7. 学校給食

1 学校給食の目的

学校給食は身体の発育期にある児童・生徒に栄養バランスのとれた食事を提供して健康の保持増進を図るとともに、食事について正しい理解を深め、望ましい食習慣を養い、食事を通して好ましい人間関係の育成を図ろうとするものである。

2 学校給食の実施状況

(1) 小学校 完全給食・単独調理場方式（4校）

給食予定回数 年間186回

給食内容 週米飯2回、パン3回（米粉パン、米粉麺も一部使用）

(2) 中学校 完全給食・単独調理場方式（4校）

給食予定回数 年間175回

給食内容 週米飯2回、パン3回（米粉パン、米粉麺も一部使用）

3 学校給食費

(1) 小学校 1食につき380円（令和7年4月改定。改定前は340円）

(2) 中学校 1食につき430円（令和7年4月改定。改定前は390円）

4 給食の材料費に関する補助

(1) 米粉消費拡大補助金

岩沼産の米の消費拡大、食材価格の高騰対策、食育と地産地消の推進に繋げるため、岩沼産の米を使用した米粉パン（平成17年11月～令和8年3月）、米粉麺（平成20年4月～）に対して補助を行っている。

(2) 岩沼市学校給食食材費高騰対策補助金

令和4年度（令和4年7月以降）～令和6年度は食材費の高騰対策として、児童生徒1人1食につき40円の補助を行っている（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用）。令和4年度（7月以降）～令和5年度は保護者負担の給食費（小300円、中350円）に上乗せする形で補助を行い、令和6年度は給食費の増額改定を行った上で、保護者負担は据え置きとした。

令和6年度2月以降は、追加で一食当たり30円の補助を行った。

令和8年度は一食当たり小学校73円、中学校80円の補助を行っている。

(3) 掛かり増し経費

令和6年度第3期以降（11月～）、「みやぎ米飯学校給食支援方式」に基づく学校給食用米穀の基準価格を供給価格が上回ったことにより、掛かり増し経費が発生。令和6年度分として761,721円、令和7年度分として2,986,747円を負担した。

(4) 市町村給食費負担軽減補助金

令和8年4月より、市町村給食費負担軽減補助金制度が始まり、児童一人あたり月額5,200円×11か月分の給食費が宮城県から補助されることになった。（岩沼市の給食費単価に換算すると一食当たり307円の補助）

岩沼市の補助と合わせ、小学校の給食費は実質無償化した。

5 米飯給食の導入

従来、学校給食はパンを中心とした小麦粉食の形態で実施されていたが、昭和51年の文部省令により米飯を学校給食に位置付けることとされた。当市では、昭和52年から週2回の米飯給食を導入している。その後、児童生徒の嗜好調査等、検討を重ね、昭和54年9月より週3回実施している。また、平成13年4月からは県内産ひとめぼれ一等米を使用している。

令和8年度からは、米飯の価格が高騰していることから、米飯給食の提供を週2回、パン給食の提供を週3回とした。

6 岩沼産リンゴゼリーの提供

食育の推進に当たって、地産地消を心掛け、食事に関する興味関心を持ってもらうとともに、郷土愛の育成にもつなげている。地場産物を使ったメニューを提供する中で、令和3年度から、岩沼産のリンゴを使用したゼリーを学校給食で提供している。

また、より一層興味関心を持ってもらうため、令和5年度からは市内中学生を対象にゼリーのパッケージデザインを募集し、選ばれた1作品がパッケージとなったゼリーを学校給食で提供した。併せて、学校給食の紹介の一環として、次年度小学校1年生になる子どもを対象に、入学前説明会での配布も行った。

7 小学校給食費の推移

(単位：円) ()は市費からの補助含む。

年度	給食回数	1食当たりの食材費	保護者負担 (年額)	備 考
昭和51	190	(142) 140	26,600	パン食5回
52	190	(173) 171	32,490	パン食3回 米飯2回
55	190	(199) 196	37,240	パン食2回 米飯3回
56	190	(207.63) 200.63	38,880	
59	190	(216.26) 213.26	40,520	
61	190	220	41,800	
平成 元	186	225	41,850	
4	186	240	44,640	
10	186	270	50,220	
20	186	(272.33) 270	50,220	
25	186	270	50,220	
26	185	280	51,800	
27	186	280	52,080	
28	183	280	51,240	
29	183	280	51,240	
30	183	280	51,240	
令和 元	183	280	51,240	
2	175	300	52,500	※1
3	186	300	55,800	
4	186	(7月以降、340) 300	55,800	1食あたり40円補助
5	186	(340) 300	55,800	1食あたり40円補助
6	186	(340、2月以降370) 340	55,800	保護者負担は据え置き 1食あたり40円補助
7	186	380	70,680	
8	186	380	0	※2

※1 新型コロナウイルス感染防止のため、令和2年3月2日～5月31日まで小中学校臨時休業にした。

また、夏季休業を8月8日～8月19日、冬季休業を12月24日～翌年1月4日に短縮した。

※2 市町村給食費負担軽減補助金(一食当たり307円)及び物価高騰対応重点支援地方創成臨時交付金(一食当たり73円)の活用により保護者負担額を0円とした。

8 物価高騰に対する給食費の補助

	給食費単価		実質単価		保護者負担額		詳細
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	
令和4年度	300	350	300	350	300	350	
令和4年7月～	300	350	340	390	300	350	新型コロナウイルス感染症対応地方創成臨時交付金により一食当たり40円を補助
令和5年度	300	350	340	390	300	350	新型コロナウイルス感染症対応地方創成臨時交付金により一食当たり40円を補助
令和6年度	340	390	340	390	300	350	給食費単価を改正。物価高騰対応重点支援地方創成臨時交付金により一食当たり40円を補助することで保護者負担額は据え置きとした
令和7年2月～	340	390	370	420	300	350	物価高騰対応重点支援地方創成臨時交付金により一食当たり30円を追加補助
令和7年度	380	430	380	430	380	430	給食費単価を改正
令和8年度	380	430	380	430	0	350	市町村給食費負担軽減補助金により小学校一食当たり307円を補助。物価高騰対応重点支援地方創成臨時交付金により小学校一食当たり73円、中学校一食当たり80円を補助

IV 生涯学習

1. 社会教育事業

1 青少年健全育成事業

事業名	目的及び内容	実施時期	対 象
青少年室相談事業	青少年室相談員が青少年の悩みなどについて、電話や面接によって相談を受ける。	通年 (月～金)	青少年 市 民
街 頭 巡 回 指 導	公園や店舗等を巡回し、青少年の非行を防止し健全育成に努める。また、市内の電柱等に貼付されている有害広告物を撤去する。	毎月	青少年
ジュニア・リーダー 初 級 研 修 会	子ども会活動の充実を図るため、研修を行い、指導者を養成するとともに、青少年のボランティア活動、社会参加活動に対する意識の高揚を図る。	7 月	中学生 高校生
ジュニア・リーダー 中・上級研修会派遣	子ども会活動の充実を図るため、子ども会指導者として養成する。	中級 8 月 上級 12 月	〈中級〉 ジュニア・リーダー 初級研修 修了者 〈上級〉 ジュニア・リーダー 中級研修 修了者
二十歳を祝う会	20 歳となった若者を祝福する。	1 月	平成 18.4.2 ～平成 19.4.1 生まれの方
子 ど も 合 宿 (きっずでいきやんぶ)	子どもたちが自然体験活動を通して自主性や協調性を学ぶ。子ども会の直接指導者となるジュニア・リーダーが活動指導にあたる。岩沼市ジュニア・リーダー協議会主催。	3 月	小学 5・6 年生

2 社会教育の推進

事業名	目的及び内容	実施時期	対象
社会教育団体 育成事業	社会教育関係団体の活動を支援する。	通年	市民
人材登録制度 導入事業	生涯学習活動の支援として、人材バンク登録制度を活用する。	通年	市民
子育て・親育ち講座	子を持つ親に対するきめ細やかな家庭教育支援を行うことを目的とした事業。小・中学校で実施。	通年	保護者
コラボスクール 推進事業	地域と学校との協働により、地域の特色を活かした体験活動等の教育実践を行う。	通年	市内4小学校 と地域住民
放課後子ども 教室推進事業	放課後、小学校の余裕教室を活用し、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ、文化活動等に取り組む。	6月～2月	登録児童 関係団体 ボランティア
防災キャンプ	地域と学校との協働により、子どもたちに防災に関する知識と実践力を養うことを目的とした事業。	通年	児童
「はらこ飯」に 関する学習	岩沼で昔から親しまれてきた「はらこ飯」の作り方や歴史を学び、郷土と伝統文化について理解を深める。	10月	児童 生徒
松尾芭蕉「奥の細道」 いわぬま二木の松 俳句大会	岩沼の歴史と文化・観光地を題材とした俳句づくりを通して、表現の面白さを学び、芭蕉の心にふれる。	1月～2月	小学生等
市史資料活用事業	市史編纂などにより、これまで長年に渡って収集してきた歴史史料を整理し公開を進めるとともに、市史及び史料の活用を行う。	通年	市民

2. 文化財保護事業

1 文化財の保護と活用

事業名	目的及び内容	実施時期
ふるさと展示室	市民図書館内に併設された「ふるさと展示室」において、歴史資料・民具等の展示を行い、文化財に対する愛護意識の高揚を図る。	通年
文化財企画展		年3～4回
埋蔵文化財の発掘	開発等に伴う遺跡の発掘調査等を行う。	通年
文化財めぐり	市内外の文化財を広く市民に紹介し、文化財に対する愛護意識の高揚を図る。	11月
文化財標柱の設置	埋蔵文化財等の周知とその保存を図る。	随時
文化財パトロール	市内の文化財の状況を常時把握し、文化財保護に万全を期する。	通年
文化財出前講座	小・中学校や市民サークルなどの学習内容に即した希望するテーマで、市内の文化財や収蔵資料を用いて解説し、郷土愛の育成を図る。	随時



武隈の松〔二木の松〕
(国及び市指定)



竹駒神社唐門(県指定)



伊達政宗騎馬石膏像(市指定)



原遺跡



竹駒神社楼門(市指定)



ふるさと展示室

2 指定文化財一覧

種 別			名 称 (所在地)	写 真	内 容	指 定 年月日
国 指 定	記 念 物	名 勝	「おくのほそ道 の風景地」 武隈の松 (二木二丁目)		俳聖・松尾芭蕉が記した紀行文である『おくのほそ道』に登場し、「桜より 松は二木を 三月越し」の句を詠んだことで広く知られる。	平成26年 3月18日
		史 跡	かめ塚古墳 (字亀塚)		水田内に位置する前方後円墳。発掘調査の結果、前方部、後円部とも後世に削平されていることが明らかとなり、本来は全長約50mの古墳であったと推定されている。	昭和25年 9月25日
県 指 定	有 形 文 化 財	建 造 物	竹駒神社唐門 (稲荷町)		唐門としては、県下最大級の建造物で、天保13年(1842)の建築である。	平成31年 2月15日
		建 造 物	竹駒神社楼門 【隨身門】 (稲荷町)		彫刻・意匠等に優れた重厚な二階門で、文化9年(1812)の建築である。	平成2年 5月11日
市 指 定	有 形 文 化 財	建 造 物	竹駒神社 境内三社 【愛宕神社】 【八幡神社】 【総社宮】 (稲荷町)		3社はいずれも一間社流造で、その建築様式から、江戸時代の特徴が見られる。(愛宕神社：江戸前期、八幡神社：江戸中期、総社宮：江戸後期)	令和2年 2月13日
		彫 刻	伊達政宗 騎馬石膏像 (稲荷町)		小室達により仙台城跡の伊達政宗騎馬像製作過程でつくられた。特に騎馬製作時の逸話は、岩沼が「馬の町」として知られていたことを後世へ伝えるものである。	令和7年 3月6日
		絵 画	米づくりの額 藍づくりの額 (下野郷 字上中筋)		仙台の画家菅井梅関の養子田龍の筆によるもので、明治20年頃の作と推定されている。2枚の額とも、1枚の中に1年を通した作業工程を描き込んでいる。	昭和48年 3月27日
		天 然 記 念 物	二木の松 【武隈の松】 (二木二丁目)		みちのくの歌枕の中でもその詠歌の多いことでは屈指の名木である。	昭和44年 5月29日

種 別			名 称 (所在地)	写 真	内 容	指 定 年月日
市 指 定	無形民俗 文化財		竹駒奴		奴道中としては全国でも数少なく芸術的にも意義がある。 竹駒奴のくり出しは、初午大祭期間中の日曜日となっている。	昭和44年 5月29日
国 登 録	有 形 文 化 財	建 造 物	竹駒神社 馬事博物館		昭和13年(1938)開館。和と洋の意匠が調和する均整のとれた外観が近代建築遺産として高く評価されている。	令和3年 10月14日
			日本基督教団 岩沼教会		教会堂建築は矩形の礼拝堂に正方形の塔を組み合わせた形態で、宮城県内に現存する歴史的な教会堂では唯一の石造建築である。	令和6年 8月15日

3. 社会体育事業

1 社会体育振興事業

行 事 名	期日又は期間	対象者	共催等
2026 岩沼市長杯 総合スポーツ大会	各競技大会 (9月～12月)	市民	岩沼市 NPO法人岩沼市 体育協会 岩沼市スポーツ少年団 本部
2026 いわぬまスポーツ フェスティバル	11月28日(土)	誰でも	岩沼市 岩沼市体育施設指定管理者 フクシ・オーエンス 共同事業体 NPO法人 岩沼市体育協会 他
岩沼市社会体育指導者 講習会	2月	スポーツ団体 の指導者等	NPO法人 岩沼市体育協会 岩沼市スポーツ少年団本部

2 社会体育施設一覧

施設名		所在地	建築／開設 年月	敷地面積(㎡)	設備概要
				建物面積(㎡)	
岩 沼 市 総 合 体 育 館 (ビッグアリーナ)		里の杜一丁目1番 1号 T E L 24・4831 F A X 24・4174	平成 5年7月	11,037.81	メインアリーナ (観覧席 1,323 席) バレーボール 6人制 3面 〃 9人制 2面 テニス 3面 バドミントン 10面 卓 球 36台 サブアリーナ バレーボール 6人制 2面 〃 9人制 1面 バスケットボール 1面 バドミントン 3面 卓 球 16台 ランニングコース (1周：210m) 卓球室、トレーニングルーム、会議室
				8,311.31	
岩 沼 市 陸 上 競 技 場		里の杜一丁目1番 42号 T E L 24・1242	平成 2年3月	28,023.48	トラック 1周：400m 8レーン 3,000m 障害走用水濠 収容人員 5,000人 メインスタンド 1,860人 芝 生 席 3,140人
				1,898.42	
多目的グラウンド		里の杜一丁目 115番地の1	平成 3年10月	13,503.00	ソフトボール場2面
				44.98	サッカー場1面
				84.96	トイレ棟
朝日山 公 園	野 球 場	字荒井37番地	昭和 50年4月	9,744.00	野球場1面 観覧席あり
	テニスコート		昭和 52年9月	1,444.00	テニスコート2面 (Aコート・Bコート)
市 民 テ ニ ス コ ー ト		字荒井36番地	昭和 56年4月	2,178.48	テニスコート2面 (Cコート・Dコート)
				43.20	クラブハウス (トイレ、休憩室)

鍛冶スポーツ公園	南長谷字鍛冶 12 番地の 1	昭和 56 年 8 月	14,219.94	ソフトボール 1 面、グラウンド・ゴルフ トイレ棟
			7.92	
少年スポーツ公園	里の杜一丁目 175 番地の 3	昭和 63 年 6 月	3,839.00	遊具：コンビネーション遊具、 東屋、トイレ
			19.75	
矢野目運動広場	下野郷字館外 289 番地	平成 19 年 4 月	1632.40	広 場 トイレ
			21.26	



岩沼市総合体育館



岩沼市陸上競技場



多目的グラウンド



朝日山公園野球場



朝日山公園テニスコート



市民テニスコート



鍛冶スポーツ公園



少年スポーツ公園

3 各施設利用状況

(単位：人)

年度/施設	総合体育館	陸上競技場	多目的グラウンド	体育センター	朝日山野球球場	朝日山テニスコート	市民テニスコート	阿武隈グランド	鍛冶公園スポーツ園	小学校体育館	中学校体育館	小学校校庭	中学校校庭	合計
H26年度	63,326	35,820		25,794	7,662	6,683	7,411	2,981	200	45,407	35,891	40,355	7,142	278,672
H27年度	69,469	36,638		27,149	7,680	5,591	9,444	2,750	400	53,336	29,888	45,097	5,495	292,937
H28年度	72,225	35,038	3,660	29,932	7,351	7,500	9,380	2,115	475	49,923	31,476	39,176	4,383	292,634
H29年度	78,582	33,814	16,982	29,236	6,167	12,802	18,852		374	56,325	33,981	41,981	5,458	334,554
H30年度	80,453	10,781	20,116	29,687	6,421	12,400	15,625		360	53,112	27,509	41,758	6,468	304,690
R元年度	91,604	26,261	13,688	24,704	3,797	3,137	4,158		643	20,883	16,234	23,289	4,866	233,264
R2年度	51,093	22,377	12,346	18,619	2,096	1,993	2,538		413	11,028	8,150	1,450	80	132,183
R3年度	19,860	27,651	12,578	0	1,922	2,705	2,950		474	18,171	9,861	1,118	0	97,290
R4年度	62,519	29,623	15,510	0	2,819	3,166	3,154		335	24,610	16,621	26,524	6,640	191,521
R5年度	87,535	30,099	22,387		3,453	3,768	3,613		320	26,621	25,286	32,803	8,062	243,947
R6年度	92,563	30,206	16,932		4,558	3,492	4,482		792	32,084	31,586	38,061	10,362	265,118
R7年度	99,092	26,656	17,250		3,728	3,766	3,522		753	36,164	37,999	39,994	8,993	277,917

※H30年度陸上競技場の利用人数は、改修工事のためH30年4月～6月までの人数となっています。

※R2年2月29日～R2年5月17日、R3年3月27日～R3年5月11日、R3年8月27日～9月12日の期間は、新型コロナウイルス感染症対策のため全施設を閉鎖していました。

※福島県沖地震の影響で、R3年2月14日からR4年6月末まで総合体育館のメインアリーナ及びサブアリーナを閉鎖しました。

※体育センターはR3年度以降、新型コロナウイルスワクチン接種会場として使用しました。

※体育センターはR6・4月に廃止し、R7に解体しています。

V 社会教育機関

1. 市民会館・中央公民館

郵便番号 989-2427
住所 岩沼市里の杜一丁目2番45号
電話 0223-23-3434
23-3450
FAX 0223-23-3451



1 運営方針

岩沼市民憲章が目指す“文化の香りも高く、健康で、活力に満ちた郷土づくり”の理想へ向け、豊かな情操と優れた創造力を養える場とする。

- (1) 地域社会の「交流活動の場」となる機能の実現
- (2) 生涯にわたる生きがいのある学習機会の充実
- (3) 魅力ある地域文化活動の推進を重点に、市民の生涯学習を踏まえた施設として機能する運営を行うものとする。

2 市民会館の役割

魅力ある地域文化活動の推進を図る。

- (1) 地域住民（広域的意義を含む）の社会教育振興の必要と要求に応える場
- (2) 芸術文化の創造と人材の発掘の場
- (3) 伝統及び歴史的文化を正しく受け継ぐ場

3 中央公民館の役割

地域社会の「交流活動の場」となる機能の実現、生涯にわたる生きがいのある学習機会の充実を図る。

- (1) 市民の生涯にわたる（ライフステージ）学習活動の場
- (2) 市民の社会生活向上の場
- (3) 市民の情報交換の場
- (4) 諸団体、機関との連絡と調整の場

4 市民会館イベント情報（令和8年度岩沼市民会館自主事業予定表）

実施日	名称	公演時間等	入場料	種別
6月28日(日)	リバーサイドブラスin2026	1回公演 開演13:30 (大ホール)	全席自由 500円 小学生以下無料 市内中学生無料	共催
7月26日(日)	いわぬま歌のおんがく会	1回公演 開演13:00 (大ホール)	全席自由 無料	共催
8月 1日(土)	岩沼市民会館開館40周年記念 みて・きいて・ならそう！ おとあそびマルシェ	2回公演 開場9:15 (中ホール他)	全席自由 500円 0歳児無料	主催
8月23日(日)	仙台フィルハーモニー管弦楽団 特別演奏会 マイタウンコンサートin岩沼	1回公演 開演15:00 (大ホール)	全席指定 3,000円 ※市民割引あり (指定期間内500円引)	共催
8月29日(土)	岩沼市民会館開館40周年記念 清水ミチコ トーク&ライブ 2026	1回公演 開演16:00 (大ホール)	全席指定 5,000円 ※市民割引あり (指定期間内500円引)	主催
10月 3日(土)	陸上自衛隊東北方面音楽隊 岩沼ふれあいコンサート	1回公演 開演14:00 (大ホール)	全席指定 無料(要申込)	主管 (市主催)
10月17日(土) 18日(日)	いわぬま市民劇団ウィープ 定期公演	3回公演 (中ホール)	全席自由 前売 1,000円 当日 1,300円 高校生 500円 中学生以下無料	共催
10月23日(金)	劇団四季 ファミリーミュージカル 『王様の耳はロバの耳』	1回公演 開演18:30 (大ホール)	全席指定 一般 5,500円 小学生以下 3,500円 3歳未満ひざ上無料 ※市民先行発売あり	主催
11月29日(日)	みんなで歌う第九の会 第40回記念演奏会	1回公演 開演15:00 (大ホール)	指定席 4,500円 自由席 4,000円	共催

5 令和8年度 中央公民館 主催教室

(1) 成人教室

名 称	期 日	回数(回)	定員(名)	備 考
シン・岩沼 歴史探訪	6月～10月	5	50	第2火曜日 13:30～15:30
わび・さび 茶道教室	6月～2月	8	15	毎月第2火曜日 10:00～12:00
のびのび体操教室	6月～12月	6	40	毎月第1水曜日 13:30～15:00
筆文字のある暮らし 教室	6月～8月	6	20	毎月第1・第3木曜日 10:00～11:30
木の枝を使った ものづくり教室	7月～11月	6	15	毎月第3金曜日 13:30～15:30

(2) 高齢者教室

名 称	期 日	回数(回)	定員(名)	備 考
寿 大 学	6月～12月	6	60	毎月第3水曜日 10:00～11:30

中央公民館

(3) 単発講座

名 称	期 日	回数(回)	定員(名)	備 考
夏休み子ども 発掘体験(原遺跡)	7月29日	1	10組	10:00～12:00
コマ回し大会 in 岩沼	8月5日	1	24	10:00～12:00
市民会館開館40周年記念 バックヤードツアー	8月9日	1	20	小・中学生 10:30～11:30
親子で作る マフィン作り	8月10日	1	10組	10:00～12:00
方丈記講座	9月～10月	4	20	10:00～12:00

6 令和8年度 中央公民館主催 玉浦教室

会場：玉浦コミュニティセンター

郵便番号 989-2429

住所 岩沼市恵み野二丁目3番地

電話 0223-35-7234

(1) 成人教室

名 称	期 日	回数(回)	定員(名)	備 考
たまうら郷学	7月、9月 11月、1月	4	30	各月第3水曜日 10:00～11:30
花のある暮らし教室	7月～1月	6	15	毎月第2木曜日 10:00～12:00
手作り教室 何でもトライ	7月、9月 10月、12月	4	20	各月第3金曜日 10:00～12:00

(2) 高齢者教室

名 称	期 日	回数(回)	定員(名)	備 考
松風大学	6月～12月	6	40	毎月第2水曜日 10:00～11:30

※平成29年4月30日、玉浦公民館閉館。中央公民館に事業を集約し、玉浦コミュニティセンターへの出張教室として教室を継続する。

※令和2年4月1日、施設運営を市職員による直営方式から指定管理者（玉浦まちづくり協議会）への委託方式に変更。教室運営は市職員による直営方式（中央公民館職員が出張して運営）を維持。

7 令和8年度 中央公民館主催 西教室

会場：岩沼西コミュニティセンター

郵便番号

989-2455

住所

岩沼市北長谷字内田90-1

電話

0223-36-7667

(1) 成人教室

名 称	期 日	回数(回)	定員(名)	備 考
ラフターヨガ 体操教室	6月～12月	6	50	毎月第3木曜日 10:00～11:30
西コミキッチン	① 8月5日 ② 10月14日 ③ 12月9日	3	各回 16	各回水曜日 10:00～13:00
みんなの 将棋教室	7月24日～ 8月21日	5	25	毎週金曜日 10:00～12:00
「声を出して原稿を 読んでみよう」 アナウンサー教室	10月～2月	5	8	毎月第2火曜日 13:30～15:00
ビューティー スタイルアップ ウォーキング	6月～2月	12	20	毎月第2・第4木曜日 10:00～11:30

(2) 高齢者教室

名 称	期 日	回数(回)	定員(名)	備 考
松寿大学	6月～12月	6	50	毎月第2火曜日 10:00～11:30

※令和4年3月31日、西公民館閉館。中央公民館に事業を集約し、岩沼西コミュニティセンターへの出張教室として教室を継続する。

※令和4年4月1日、教室運営は市職員による直営方式（中央公民館職員としての併任辞令）を維持。

8 市民会館・中央公民館利用状況

(1) 市民会館

年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
開館日数	240		345		346		345		345	
利用	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
大ホール	118	17,058	226	45,215	176	34,879	123	28,016	160	28,652
中ホール	226	6,604	344	13,643	367	13,283	237	13,203	239	11,229
リハーサル室	230	2,167	311	3,635	287	3,779	284	3,967	310	3,178
合計	574	25,829	881	62,493	830	51,941	644	45,186	709	43,059
一日平均利用者数	108		181		150		131		125	

(2) 中央公民館

年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
開館日数		２８８		３４５		３４６		３４５		３４５	
利用		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
会議室	第２	117	846	134	1,427	185	1,912	137	1,735	154	1,850
	第３	155	861	221	2,035	260	1,614	187	1,905	216	2,091
	第４	47	265	76	935	82	929	64	772	93	1,159
	第５	114	1,415	149	2,535	146	2,691	127	2,240	146	3,304
視聴覚室		181	2,418	255	4,754	225	3,684	241	4,337	246	4,278
調理実習室		21	116	18	341	27	335	11	132	86	835
和室		192	1,398	197	1,655	131	1,122	131	1,072	91	959
展示ホール		2	－	2	－	2	－	2	－	1	－
全館（複室）利用		36	大ホールに含む	31	大ホールに含む	33	大ホールに含む	23	大ホールに含む	39	大ホールに含む
合計		829	7,319	1,052	13,682	1,058	12,287	900	12,193	1,033	14,476
一日平均利用者数		２５		４０		３６		３５		４２	

2. 市民図書館

郵便番号 989-2448
住所 岩沼市二木二丁目8番1号
電話 0223-24-3131
FAX 0223-25-1713



1 運営基本方針

岩沼市民図書館の設置及び管理に関する条例第2条（設置）に基づき、図書、文化財等の必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、市民の教養の向上、調査研究等の生涯学習活動に資するよう、以下の基本方針により本館を運営する。

また、運営に当たっては、より一層使いやすく親しまれる市民図書館を目指して、市民目線に立ったサービスの質の向上と効率的かつ柔軟な運用に努める。

- (1) 市民の生涯学習を支援する図書館をめざす。
- (2) 市民のコミュニケーション空間としての図書館をめざす。
- (3) 地域情報の集積・提供の拠点としての図書館をめざす。
- (4) きめの細かい図書館サービスで地域になくてはならない図書館をめざす。
- (5) 運営協議会等において常に運営状況の点検・評価を行いより良い図書館をめざす。

2 主な施策

- (1) 一般書、児童書、視聴覚資料等、図書館資料を計画的に整備する。
- (2) 利用者の利便性の向上のため、分類、排架、目録等書誌データを整備する。
- (3) ホームページや利用者開放端末からの検索機能を用いて蔵書公開を容易にする。
- (4) インターネット予約、読書案内、レファレンスサービス等を充実させ、図書館サービスの質の向上に努める。
- (5) 市広報誌や図書館だよりを活用して広報を充実させる。
- (6) ボランティア団体及び図書館主催の「読み聞かせ おはなし会」を充実させる。
- (7) 東西分館の図書資料整備と利用促進を図る。
- (8) 市内小・中学校及び高等学校との関係を深め、学校図書館との連携を図る。
- (9) ふるさと展示室、セミナールーム・まちかどギャラリーの利用促進を図る。

3 令和8年度事業計画

(1) 図書館蔵書整備事業

図書資料購入等による蔵書の充実を図る 図書、視聴覚資料等3, 550点購入予定

(2) 図書館運営事業

①児童関係

行事名	実施内容	備考（開催日等）
こどもの読書週間関連行事 (4月23日～5月12日)	絵本作品の展示 テーマ「こんにちは！えほん！」	5月1日（金）～5月10日（日）
	特別おはなし会 ※通常のおはなし会の時間・内容を拡大充実させた会	4月23日（木）
手づくり絵本教室	講師 岩沼よみきかせの会 代表 三浦 美智子氏 ※オリジナル絵本の製作	8月6日（木）～7日（金）
学校図書館との連携	講師 株式会社ボプラ社 畦崎 大蔵氏 授業での児童向け百科事典の活用法や児童生徒への利用指導に係る研修 ※市内小中学校図書館職員と市民図書館職員との情報交換・研修等	7月28日（火）
読み聞かせボランティア ステップアップ講座	講演会 演題「絵本の種は暮らしの中に」 講師 児童文学・絵本作家 きたやまようこ氏 ※読み聞かせボランティアネットワーク岩沼と共催	10月27日（火）
読書週間関連行事 (10月27日～11月9日)	図書館ハロウィン！フォトスポット ※ハロウィンにちなんだ背景・衣装を利用した撮影	10月14日（水） ～10月31日（土）
	特別おはなし会	10月22日（木） 10月29日（木）
	手づくり絵本教室の作品展示	10月27日（火）～11月8日（日）
おたのしみ福袋貸出	福袋として絵本・児童書のセット貸出	1月5日（火）～ なくなり次第 未就学児・低・中・高学年各10袋
読み聞かせ研修会	未定	1～2月
おはなし会	市民図書館主催おはなし会(第4・第5木曜日)	職員による開催
	市民図書館共催おはなし会(第2木曜日)	職員及びボランティア団体の 協力による開催
	よみきかせサークルによるおはなし会 ・おひざにだっこダンボの会（第1・第3木曜日） ・語りっこいわぬま（第2日曜日）	月1～2回 各サークル主催で実施
DVD上映会	DVD上映会 幅広い年齢層が楽しめるもの	未定

②一般関係

行事名	実施内容	備考（開催日等）
がん予防講座	がん及び予防についての講演会 演題「早期発見が大切！知っておきたいがん検診・がん予防について」 講師 宮城県立がんセンター看護部 認定看護師 佐藤 美穂氏	6月26日（金）
ミニリサイクル市	除籍後の本、雑誌を希望者に提供	10月29日（木）～11月1日（日）
朗読のひととき	テーマに沿った作品の朗読、関連する書籍の展示紹介 ※朗読の会「こだま」と共催	11月29日（日）
第15回文化講演会	未定	1～2月

③展示、広報関係等

季節の展示 まちかどギャラリー(2階) エントランスホール(1階)	6月：岩沼絵画会作品展、7月：MOA美術館児童作品展、8月：文化財パネル展 10月：水彩サークル作品展、児童生徒科学技術作品展、東北農政局出張展示 2月：二本の松俳句大会作品展
図書資料展示	テーマ別、本の展示：時宜にかなったテーマを設定し、関連した一般書・児童書を展示 郷土資料の展示：岩沼に係る資料の展示
広報活動	「利用の案内」：図書館等で配布 「ホームページ」：蔵書検索・図書館行事案内等提供 SNS(Instagram、Facebook)：随時 「としょかんだより」・「あいあい通信」：毎月発行
就労体験	職場体験(中学生)・インターンシップ(高校生・障がい者等) 実習生の受入れ ※申込のある場合
施設見学	小学生の受入れ ※申込のある場合
その他	「ブックリスト」：随時発行
自習室開放	セミナールーム阿武隈を行事、貸出等がない場合に利用者に開放。9時～17時の間 無料 30席

3. 社会教育施設等一覧

施設名	所在地	建築/開設 年月	敷地面積 (㎡)	建物	
				構造	面積 (㎡)
市民会館	岩沼市里の杜一丁目 2番45号 TEL 23-3434 TEL 23-3450 FAX 23-3451	昭和 61年5月	31,355.46	一部鉄骨鉄筋 地下1階 地上2階 塔屋2階建	6,048.11
中央公民館					
市民図書館	岩沼市二木二丁目 8番1号 TEL 24-3131 FAX 25-1713	平成 23年5月	3,633.85	鉄骨造 2階建	3,018.60
市民図書館 東分館 (玉浦コミュニティ センター内)	岩沼市恵み野二丁目 3番地 TEL 35-7234	平成 29年5月	—		—
市民図書館 西分館 (岩沼西コミュニテ ィセンター内)	岩沼市北長谷字内田 90番地の1 TEL 36-7667	令和 4年4月	—		—
青少年室 (総合福祉センター内)	岩沼市里の杜三丁目 4番15号 TEL 22-3333	昭和 55年4月	—		—

VI 各種委員会委員等名簿

1. 学校医・学校歯科医・学校薬剤師

(任期 令和8年4月1日～令和9年3月31日)

学校名	学校医			歯科校医	学校薬剤師
	内科	耳鼻咽喉科	眼科		
岩沼小学校	板野 正敬	丹野 哲子	板橋 隆三	清水 功之	関谷 宗英
玉浦小学校	板野 正敬	丹野 哲子	板橋 俊隆	東田 大輔	遠藤 要子
岩沼西小学校	山田 雅明	小泉祥太郎	板橋 隆三	小島 一夫 伊藤 泰平	関谷 宗英
岩沼南小学校	板野 正敬	丹野 哲子	板橋 隆三	南舘 英明	高梨 宏行
岩沼中学校	大和田直樹	丹野 哲子	板橋 隆三	高藤 康夫	高梨 宏行
玉浦中学校	駒林 大智	丹野 哲子	板橋 俊隆	荻原 裕志	遠藤 要子
岩沼北中学校	大和田直樹	小泉祥太郎	板橋 隆三	大内 宏文	佐々木一樹
岩沼西中学校	小林 誠	小泉祥太郎	板橋 隆三	上中 恒憲	関谷 宗英

2. 障害児就学指導審議会委員

(任期 令和7年4月1日～令和9年3月31日)

氏 名	備 考
池田 尚人	岩沼中学校長
板野 正敬	小児科医
嶺岸 さゆり	名取が丘校副校長
後藤 泰宣	岩沼小学校 教諭
百足 央子	玉浦小学校 教諭
小野 絵里香	岩沼西小学校教諭
村形 舞香	岩沼南小学校教諭
伊藤 志由子	岩沼中学校 教諭
鈴木 理恵	玉浦中学校 教諭
古川 明子	岩沼北中学校教諭
八木沼 麻里	岩沼西中学校教諭

3. 通学路等安全対策推進会議委員

(任期 令和7年4月1日～令和9年3月31日)

氏 名	備 考
山田 雅信	岩沼警察署交通課
滝深 光昭	仙台土木事務所
佐藤 和也	行政職員
橋本 朋子	行政職員
愛澤 航史	玉浦小学校 校長
斎藤 友弘	岩沼南小学校教頭
大本 牧子※	PTA 連合会

4. いじめ問題対策連絡協議会委員

(任期 令和7年4月1日～令和9年3月31日)

氏 名	備 考
松木 崇晋	岩沼警察署生活安全課長
佐藤 朋博	仙台法務局人権擁護部
鈴木 佑治	県中央児童相談所
板野 正敬	学校保健会長
佐藤 隆信	青少年室運営協議会長
鈴木 啓二郎	人権擁護委員代表
愛澤 航史	玉浦小学校長
佐藤 和夫	玉浦中学校長
郡山 竜太	玉浦小 PTA 会長
三浦 貴之	玉浦中 PTA 会長
野口 太郎	行政職員

5. いじめ問題対策推進委員

(任期 令和7年4月1日～令和9年3月31日)

氏 名	備 考
愛澤 航史	玉浦小学校長
佐藤 和夫	玉浦中学校長
小池 二千翔	岩沼小学校 教諭
工藤 久美子	玉浦小学校 教諭
佐藤 生悠	岩沼西小学校 教諭
石井 歩	岩沼南小学校 教諭
大久保 康治	岩沼中学校 教諭
鈴木 俊徳	玉浦中学校 教諭
八木沼 寛人	岩沼北中学校 教諭
星 隼斗	岩沼西中学校 教諭
山田 桂	スクールソーシャルワーカー

6. 特別支援連携協議会委員

(任期 令和7年4月1日～令和9年3月31日)

氏 名	備 考
板野 正敬	岩沼市学校保健会 会長
勅使瓦 理恵	名取高等学校校長
刈敷 正寿	岩沼高等学園校長
嶺岸 さゆり	名取支援学校名取が丘校副校長
池田 尚人	岩沼市校長会 会長
伊藤 陽子	岩沼市保育所(園)連絡協議会 代表
平塚 奈緒子	私立幼稚園 代表
後藤 美智子	名取支援学校名取が丘校教諭
伊藤 志由子	中特 Co 代表
村形 舞香	小特 Co 代表
星 誠	行政職員
板橋 晋也	行政職員
野口 太郎	行政職員

7. 学校給食運営協議会委員

(任期 令和7年4月1日～令和9年3月31日)

氏 名	備 考
池田 尚人	岩沼中学校長
樋川 研吾	岩沼小学校長
愛澤 航史	玉浦小学校長
堀内 恵理子	岩沼北中学校長
鎌田 潤一	岩沼小 PTA 会長
鈴木 真奈美	岩沼西中 PTA 会長
三浦 貴之	玉浦中 PTA 会長
田口 祥子	岩沼西小 栄養士
本田 薫	岩沼南小 栄養士
櫻井 祐子	玉浦中 養護教諭
渡邊 あゆみ	岩沼南小学校 教諭

8. 社会教育委員

(任期 令和7年4月1日～令和9年3月31日)

氏 名	備 考
高橋 勝	教育指導専門監
池田 尚人	岩沼中学校長
佐藤 玲子	家庭教育
浅井 みな子	社会教育
佐藤 育子	社会教育

9. 文化財保護委員

(任期 令和8年4月1日～令和11年3月31日)

氏 名	備 考
千葉 宗久	考古学
永田 英明	古代史・交通史
徳竹 亜紀子	考古史
菅井 幸徳	建築
新妻 茂雄	郷土史

10. 市民図書館運営協議会委員

(任期 令和8年4月1日～令和10年3月31日)

氏 名	備 考
高橋 勝	教育指導専門監
新田 一夫	文化財友の会
五十嵐 理恵	岩沼小学校 司書教諭
保科 桂子	岩沼読み聞かせネットワーク
伊藤 陽子	竹駒保育園園長
三浦 茂子	家庭教育支援チーム 「ほっぺの会」会長
安達 真里	おはなし広場 ぐうちょきぱあ代表
渡辺 順子	朗読の会こだま代表

11. 青少年室運営協議会委員

(任期 令和7年4月1日～令和9年3月31日)

氏 名	備 考
佐藤 隆信	社会福祉協議会
勅使瓦 理恵	名取高等学校校長
松木 崇晋	岩沼警察署生活安全課長
若山 聖子	岩沼南小学校長
佐藤 和夫	玉浦中学校長
佐藤 育子	民生委員児童委員協議会 副会長
星 幸枝	民生委員児童委員協議会主 任児童員
鈴木 早苗	少年補導員協会少年補導員
郡山 竜太	岩沼市 PTA 連合会長
菅原 亜由美	行政職員

12. 青少年室青少年相談員

(任期 令和7年4月1日～令和9年3月31日)

氏 名	備 考
氏家 隆文	少年補導員協会
高橋 清一	少年補導員協会
宮部 淳子	民生委員児童委員協議会
青木 里沙	社会福祉協議会
菊池 有希子	岩沼警察署
小池 二千翔	岩沼小学校 教諭
工藤 久美子	玉浦小学校 教諭
佐藤 生悠	岩沼西小学校 教諭
石井 歩	岩沼南小学校 教諭
大久保 康治	岩沼中学校 教諭

氏 名	備 考
鈴木 俊徳	玉浦中学校 教諭
八木沼 寛人	岩沼北中学校 教諭
星 隼斗	岩沼西中学校 教諭
本多 和宏	名取高等学校主幹教諭
鎌田 潤一	岩沼小 PTA 会長
大本 牧子	岩沼西小 PTA 会長
三浦 宗隆	岩沼南小 PTA 会長
三浦 貴之	玉浦中 PTA 会長
鈴木 真奈美	岩沼西中 PTA 会長
福田 淳次	岩沼北中 PTA 会長

13. スポーツ推進審議会委員

(任期 令和8年4月1日～令和10年3月31日)

氏 名	備 考
刈敷 正寿	岩沼高等学園校長
佐藤 浩	スポーツ少年団本部長
池田 尚人	岩沼中学校長
椎名 勝彦	前社会教育指導監
長田 勝吉	行政職員
小野 一男	スポーツ推進委員
三浦 説子	第2次岩沼市健康づくり 市民計画推進委員会
佐藤 賢一	体育協会副会長

14. スポーツ推進委員

(任期 令和7年4月1日～令和9年3月31日)

氏 名	備 考
酒井 信幸	剣道
星 幸枝	卓球、バレーボール
小野 一男	陸上競技
長田 育子	バレーボール
小野 孝	ソフトボール、ミニバスケットボール
工藤 悦子	バレーボール
小野 健一	ソフトテニス
菊地 康之	ソフトテニス
鈴木 早苗	ソフトテニス
尾形千賀子	バレーボール

教 育 要 覧 岩 沼

印 刷 令和8年8月
編集発行 岩沼市教育委員会
岩沼市桜一丁目6番20号
電話 0223-23-0728 (学校教育課)
0223-23-0844 (生涯学習課)